

現代青年の身体文化に 関する調査的研究

杉 江 修 治
大 橋 博 明
小 峰 総 一 郎
水 野 り か

問 題

1 青年研究における身体

われわれは、現代の青年文化を、大学生を中心に教育とのかかわりで広く検討していこうと考えた。青年文化への関心は、一般に1960年代中頃からの、「青年の異議申し立て」を背景とした諸活動のあらわれによって高まったといわれている。しかし、70年代初頭までの反体制、反権力を特徴とする文化様式はしだいにおとなの文化にとりこまれ、最近ではその停滞、不活発さ、そしておとな文化に比べてのひ弱さが指摘されてきている。青年自身でさえも、自らの文化を肯定的に捉え得ないでいるように思われるのである。

だが、このような青年の「世代性」にかかわる現象は、時としてジャーナリスティックに、皮相的な扱いに終始することがないとはいえない。いつの時代、どんな社会においても、多かれ少なかれ、子どもからおとなへの移行期にある青年に共通してみられる「青年性」とよぶべき基層の部分があるはずである。その層はまた人間性につながるものであり、とりわけ教育の視点に立てばむしろこちらの重要性が大きい。それは青年文化研究では常に中心におかれるべき問題であろう。それに対して「世代性」は青年への指導の技術的側面でむしろ問題とされる課題であるように思われ

る。

青年文化に関する組織的な考察は、これまで心理学、教育学、社会学の領域で少なくはない。二関隆美(1975)、松原治郎(1978)、深谷昌志・門脇厚司(1985)、中野収(1985)らがそれぞれの視点でまとまった報告をしている。ただ、それらの記述の中には、青年の身体にかかわる文化が十分に扱われてはいない。

青年期における身体というのは極めて重要な研究課題である。依田新(1963)は、「(青年期の)身体の変化にともなう身体像が、男性あるいは女性のシンボルとしてかれらの自我形成に重要な意義をもつようになる」と、身体の問題が青年理解のうえで重要な位置にあることを指摘している。また、青年が身体特徴上の悩みをもつことが多い理由として、「青年期における急激な身体発育により、身体についての意識がたかめられ、身体像への今までの適応がこわされる」こと、「成人になったという意識から成人としてのからだつきになっているかどうかということへの関心が高められている」ことなどをあげている。さらに、「かれら(青年)は自分の身なりが、仲間たちから、あるいは異性の友人から、どのように思われているかということには強い関心をもっているが、成人たちからどう思われているかということにはあまり気にしていないように見える。だから、良い身なりについての成人の標準と、かれらの仲間の間での標準が一致しないような場合には、かれらは成人からは眉をひそめられるような服装でも、自分たちの仲間によって承認されることの方を選ぶのである」とのべて、身体の問題が関係する青年の行動特徴の背景にまで論をすすめているのである。

また、星野公夫ら(1981)は、SecordとJohnsonの研究を引いて、「身体に対して肯定的な満足をもつ大学生が否定的な身体感情をもつ者よりも、より一層安定し自信を持ち、劣等感がないことを見出し、精神的健康に対する有意義な成果をもたらした」と指摘している。

2 青年の身体文化研究の意味

われわれは、青年文化と教育の問題を検討する出発点に、身体にかかわ

る「青年層に共通かつ独特な意識と行動の型」(二関 1975), すなわち身体文化の研究をおいた。青年の身体文化研究は, 依田の指摘に示されるように「青年性」を理解するうえで重要な意義をもつものと考えられる。また, 次のような諸点からみたとき, それは青年文化研究への興味深いとりかかり口になっているからである。

(1) 身体の変化は青年期に普遍的に認められる。したがって, 青年文化に大きな影響を与える環境的諸条件から独立しているところの大きい側面である。すなわち, 環境からの一方的影響による変化が少なく, 青年性探求の重要な入口になると考えられる。

(2) 現代の青年文化は, 音楽をはじめとする社会的諸活動では, その内容が1960年代の焼き直しにすぎないと評価されることが多い。その独創性への評価は低い。しかし身体文化では, フィットネス, ファッション等に, これまでにない活動が作り出されつつあるように思われる。ここに青年文化のもつ反抗文化としての創造的側面をとり出せる可能性があると考えられる。

(3) 青年の身体の形態的, 機能的優劣は, 戦時期には重要な教育課題となる。一方, 現代のわが国では, 受験競争における「できる子=よい子, できない子=悪い子」という考え方と軌を一にしたような「強い子=よい子, 弱い子=悪い子」といった次元一方向的な価値観が, 学校文化, とりわけ「部活」などを中心とした勝負へのこだわりの中で強くみられるようになってきている。日本人のスポーツ観を検討した岸野雄三(1968)は, 「勝負主義」, 「自虐主義」, 「修養主義」, 「娯楽性, 自然性の欠除」を特徴としてあげている。同様の考察を行った菅原禮(1976)は, 「求道主義」, 「勝利主義」, 「精神主義」をあげている。このような資料を考え合せたとき, 身体文化の研究は「望ましい身体教育とは何か」を探る上でも重要な意義をもっていると考えられる。

なお, 本研究の資料を得た中京大学には, 身体文化と深くかかわりをもつ体育学を教育研究内容とした学部がある。本研究の関心は, 体育学の教育目標の1つ, すなわち, 体育学の学習を通してどのような文化を形成す

べきかという問題の基礎的部分とかかわりをもつであろう。さらに組織的な教育を受ける前と後の身体観の変化についての資料が得られれば、それは学習の評価に関する資料となり、彼らへの指導改善に役立たせることも可能であろう。

3 青年の身体文化に関する先行研究

身体文化は心理学、教育学、社会学、体育学、医学など、多数の領域にその内容が関係する。そのために先行諸研究を十分に調査することは困難であった。「身体文化」という用語を表題に掲げた研究は内海和雄（1980）の研究1編を見出したにとどまった。しかもそこでは文化は所産としての意味合いで用いられ、われわれの関心とは異なるとらえ方であった。

一方、大学生のスポーツ観、健康観に関する調査的研究は、体育学の領域を中心に多く行われている。それらの研究は、主に学生指導上の基礎資料を集めるという目的をもって行われたものであり、質問内容や結果のまとめ方は多様である。しかしそれらの中には青年の身体文化の側面を記述した研究として捉え直すことのできる資料が多数ある。それらは以下のようなものである。

(1) 大学生の健康観の検討を目的とした研究

速水 修ら（1981）は、教員養成系の学生を対象に、彼らへの健康教育のあり方をさぐるために、健康に対する知識・態度・関心、さらに健康にかかわる生活実態、健康増進活動の実施状況を調査している。岩田家正（1984）は、大学生のスポーツ参加の有無、健康への留意、体力づくりの実施状況等、体力・健康づくりの行動と意識の実態を報告している。岡茂（1980）は、「健康とは何か」、「健康障害はいわゆる障害と異なるか」、「病気の危機的体験と現在の自分にとっての意味」の3項目について、障害児教育学科に学ぶ1年生を対象として自由記述による調査を行っている。ここでは、個人の病気体験の有無が健康観に重要な意味をもつことが指摘されている。関巖・中神勝（1985）は、大学1年生、2年生を対象に、健康観、健康・体力への自己評価、スポーツ参加の状況を、性別、学年別に検討している。また、高橋康子（1983）は大学1年生を対象に、健康観を問

い、さらに健康保持の活動状況、不健康状態に陥った場合の対応の仕方等の調査を行っている。

(2) 大学生のスポーツ参加に問題を絞った研究

波多野梗子・代田由加里(1985)は、大学1年から3年生を対象に、スポーツの好嫌と、それを招来したと考えられる諸要因(過去のスポーツ参加経験、体育授業等)とのかかわりを検討し、体育授業が重要な要因となっているという資料を得ている。服部豊示(1979)は、大学生のスポーツ参加理由をスポーツに内在する理由と外在的理由に分け、大学1年生を対象に実態を調べている。西大立目永ら(1983)は、身体活動の指導研究の資料収集の目的で、健康にかかわる生活実態調査とあわせてスポーツ実施状況を、大学1年生から4年生まで通して調査した。その結果、近年の大学生の中に運動欲求が増大してきているという傾向性を見出している。また、植村典昭・上杉正幸(1986)は、大学1年生を対象に、スポーツ、体育の好き嫌いとその理由、さらにスポーツ参加とその動機についての実態調査を行っている。

(3) 大学生のスポーツ価値意識についての研究

上杉正幸(1978, 1980, 1981, 1985, 1986)は、手段性—自己目的性、即時性—禁欲性というスポーツへの価値観分類の次元を見出し、スポーツ価値観の形成過程を追うための枠組みづくりと、幾つかの実験的な試みを行っている。浜田靖一(1980)は、大学生の体格、体力の自己認知とスポーツ参加実態を調査している。さらに、体格の自己認知については、女子大学生を対象とした青山昌二(1978)の研究があげられる。身長、体重の現実と理想とを回答させ、その差を比較して、個人の体格と理想値の関係を検討している。同じく女子大学生を対象とした松島宏他(1979)、志村邦義・武下正次(1985)の2研究は、女子大学生の美への願望の実態の記述とあわせて、「個々人の形態に対する要求の方向は明らかに身長においては過小視し、体重においては過大視の傾向を示している」と報告している。

4 本研究の目的

今回のわれわれの研究は、大学生の身体に対する態度の広く多面的な実

態を把握することを目的とした。検討にあたっては、体育学部生か否かという条件差、学年差、性差の3つの側面についての比較を試みた。これにより、大学生の身体文化の一端を明らかにすることができ、今後の研究展開のための基礎的資料を得ることができると考えたからである。

方 法

集団実施の質問紙調査によった。

被調査者は中京大学学生。体育学部生 430 名、他学部（文学部、法学部、商学部）生 572 名。1年生を低学年、3・4年生を高学年とし、性別に分けた内訳を Table 1 に示す。

質問紙の構成は次の通りである。

(1) スポーツ、身体・健康増進活動の実施実態と、その活動に対する自己評価を自由記述で求める。各5問、計10問。

(2) 5段階評定で回答を求めた、身体文化にかかわる調査項目34項目。その内容は次のような領域にわたる。

- 自身の身体に対する態度（形態面、機能面）。
- 心身の機能的相関に関する意見。
- 身体美への態度。
- 身体機能の優劣への態度。
- 身体表現活動への態度。
- 身体形成因についての意見。
- 身体と社会的態度とのかかわりに対する意見。
- 身体に対する社会一般の関心の度合への評価。

Table 1 被験者の内訳

| 性 別 | 男 子 | | 女 子 | | 合 計 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 低学年 | 高学年 | 低学年 | 高学年 | |
| 体育学部 | 164 | 153 | 51 | 62 | 430 |
| 他 学 部 | 236 | 233 | 52 | 51 | 572 |
| 合 計 | 400 | 386 | 103 | 113 | 1,002 |

- 身体文化情報への態度。
 - 健康観。
 - 近年の身体文化諸現象に対する態度。
- (3) 身体・健康に関する意見の補足を自由記述で求める。
具体的な調査様式は論文末に資料として付した。
調査は1987年1月中旬に実施した。

結果と考察

1 因子分析による尺度別検討

結果は、まず因子分析による処理を経たデータについて検討し、その後、項目別の検討を行う。

データ処理は、バリマックス回転の後、因子分析を行った。その結果、固有値が1.5以上ある6因子が他の因子と特に異なっていた。そこで因子数を6と指定してもう一度因子分析を行ったところ、Table 2に示すように各尺度とも十分信頼性が高かったため、この6因子を採用した。

各因子に含まれる項目はTable 3に示す。それらの項目に基づいて、第I因子は「心身の相関」、第II因子は「運動への関心」、第III因子は「健康への関心」、第IV因子は「ファッション性」、第V因子は「身体と権威主義の相関」、第VI因子は「自己認知」の尺度と命名した。

次に、このようにして見出された6つの尺度それぞれについて、各因子に属する項目の得点の合計を項目数で割った値の平均とSDを算出した。Table 5の「全体」の欄には、全被調査者の尺度別平均値を示した。また、Table 5には学部別の結果も示した。さらに、学部間の平均値の差の検定結果をTable 6に示した。学部別にみると、「運動への関心」、「健康への関心」、「ファッション性」、「自己認知」で体育学部学生の値が有意に高いことが明らかとなった。

Table 7には性別の尺度別平均値を示した。Table 8はその平均値の差の検定結果を示した。これによれば、「心身の相関」、「運動への関心」、「健康への関心」で女子が男子に比べて有意に高い値を示し、一方、「自己認

Table 2 因子分析の結果と各因子の信頼性係数 (α 係数)

| 項目 | α 係数 | I | II | III | IV | V | VI | 共通性 |
|------|-------------|------|------|------|------|------|------|-------|
| (20) | .80 | .62 | .18 | .14 | .03 | -.02 | .24 | .50 |
| (3) | | .55 | .13 | -.03 | .01 | .03 | .14 | .35 |
| (27) | | .55 | .10 | .04 | .10 | .11 | .17 | .37 |
| (12) | | .55 | .22 | .18 | .08 | .16 | .05 | .42 |
| (11) | | .49 | .16 | .16 | .33 | .13 | -.10 | .43 |
| (8) | | .47 | .13 | .05 | .06 | .09 | .13 | .27 |
| (19) | | .46 | .10 | .44 | .22 | .05 | -.08 | .47 |
| (1) | | .41 | .04 | .14 | .33 | .08 | -.16 | .33 |
| (31) | .79 | .13 | .68 | .12 | .24 | .01 | .04 | .55 |
| (17) | | .10 | .57 | .24 | -.07 | -.03 | .11 | .41 |
| (5) | | .07 | .51 | .02 | .12 | .02 | -.13 | .30 |
| (32) | | .04 | .49 | .47 | .01 | .03 | .10 | .47 |
| (23) | | .21 | .48 | .20 | .14 | .05 | .11 | .35 |
| (21) | | .16 | .45 | .14 | .16 | .11 | -.10 | .30 |
| (16) | | .15 | .42 | .21 | .23 | .07 | -.01 | .31 |
| (7) | | .17 | .40 | .16 | .05 | .01 | .08 | .22 |
| (33) | .73 | .22 | .15 | .61 | .11 | -.09 | -.07 | .46 |
| (25) | | .04 | .23 | .55 | .08 | .01 | .11 | .37 |
| (10) | | -.01 | .16 | .52 | .06 | .02 | .08 | .31 |
| (26) | | .21 | .12 | .49 | .33 | .01 | -.18 | .45 |
| (22) | | .05 | .27 | .46 | .01 | .09 | -.04 | .30 |
| (34) | .76 | .09 | .13 | .10 | .78 | .08 | .04 | .66 |
| (18) | | .09 | .12 | .10 | .70 | .07 | .07 | .53 |
| (24) | | .16 | .26 | .11 | .49 | -.04 | .19 | .39 |
| (9) | | .13 | .26 | .12 | .41 | -.10 | .19 | .31 |
| (30) | .79 | .10 | .10 | .07 | .03 | .78 | .10 | .65 |
| (15) | | .18 | .08 | -.00 | .03 | .71 | .05 | .54 |
| (28) | .61 | .06 | -.07 | -.05 | .06 | .09 | .62 | .40 |
| (13) | | .38 | .01 | -.05 | .10 | .15 | .52 | .32 |
| (4) | | .14 | .07 | .11 | .02 | -.06 | .43 | .22 |
| (2) | | .38 | .03 | .37 | .13 | -.04 | -.07 | .31 |
| (6) | | .07 | .30 | .32 | .06 | .17 | -.10 | .24 |
| (29) | | .23 | .11 | .29 | .06 | .15 | .12 | .19 |
| (14) | | .16 | -.09 | .19 | .16 | .20 | .11 | .15 |
| 2 乗和 | | 2.78 | 2.72 | 2.54 | 2.17 | 1.38 | 1.25 | 12.84 |
| 寄与率 | | .08 | .08 | .08 | .06 | .04 | .04 | .38 |

Table 3 各因子の項目と各尺度の命名

| 因子 | 命名 | 項目 |
|-----|-----------------|--|
| I | 心身の相関 (身体価値) | 1. 美しい身体を持っているというだけで、その人に好ましさを感じる。 3. 身体が健康であれば、心も健康になる。 8. 体力=健康ということが出来る。 11. 美しい身体を持っているというだけで、その人には価値がある。 12. 身体がしっかりしていれば、生活全般が自信に満ちる。 19. スポーツ能力の高い身体には価値がある。 20. 身体を鍛えれば心も鍛えられる。 27. 身体を鍛えれば知的能力も伸びる。 |
| II | 運動への関心 | 5. パントマイムやバレエ、ダンスのような身体表現に興味がある。 7. 私(あなた本人のこと)は身体に関する情報に接することが多い。 16. エアロビクス、ボディービルのようなフィットネスブームは好ましい。 17. ジョギング、ストレッチング、太極拳といった健康増進の活動をしてみたい。 21. パントマイムやバレエ、ダンスのような身体表現の価値は高い。 23. 私(あなた本人のこと)は身体に関する情報を自ら求めている。 31. エアロビクス、ボディービルのようなフィットネス活動に参加したい。 32. ジョギング、ストレッチング、太極拳といった健康増進の活動は好ましい。 |
| III | 健康への関心 | 10. 良いといわれる食品(無添加、無農薬など)をとることや、食べすぎないことなど、食事に気をつけることは好ましい。 22. 今の社会では、身体への関心が高い。 25. 良いといわれる食品(無添加、無農薬など)をとることや、食べすぎないなど食事に気をつけたい。 26. 見た目美しい身体が自分にほしい。 33. スポーツの能力の高い身体を得たい。 |
| IV | ファッション性 | 9. テニス、スキー、ウインドサーフィンのようなファッション性のあるスポーツに参加したい。 18. 服装、化粧などで身体をかざるとは好ましい。 24. テニス、スキー、ウインドサーフィンのようなファッション性のあるスポーツは好ましい。 34. 服装、化粧などで身体をかざりたい。 |
| V | 身体と権威主義との相関 | 15. 自分の身体に強い関心をもつ人は権威主義に陥りやすい。 30. 自分の身体に強い自信をもつ人は権威主義に陥りやすい。 |
| VI | 自己認知 | 4. 私(あなた本人のこと)は健康だ。 13. 私(あなた本人のこと)は自分の身体の外見に満足している。 28. 私(あなた本人のこと)は自分の身体の動きに満足している。 |
| φ | | 2. スポーツの能力の高い身体は好ましい。 6. 今の社会では、身体への関心が高い。 14. 身体の個性は主に遺伝的な条件によっている。 29. 身体の個性は主に訓練や生活態度によっている。 |

Table 4 尺度間相関

| 因子 | I | II | III | IV | V | VI |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| I | 1.00000 | 0.44069 | 0.38527 | 0.38427 | 0.26006 | 0.20189 |
| | 0.0000 | 0.0001 | 0.0001 | 0.0001 | 0.0001 | 0.0001 |
| | 941 | 910 | 926 | 933 | 927 | 915 |
| II | 0.44069 | 1.00000 | 0.48931 | 0.40552 | 0.16033 | 0.09027 |
| | 0.0001 | 0.0000 | 0.0001 | 0.0001 | 0.0001 | 0.0061 |
| | 910 | 956 | 939 | 950 | 942 | 923 |
| III | 0.38527 | 0.48931 | 1.00000 | 0.33247 | 0.08789 | 0.00405 |
| | 0.0001 | 0.0001 | 0.0000 | 0.0001 | 0.0065 | 0.9013 |
| | 926 | 939 | 972 | 963 | 956 | 938 |
| IV | 0.38427 | 0.40552 | 0.33247 | 1.00000 | 0.11212 | 0.16253 |
| | 0.0001 | 0.0001 | 0.0001 | 0.0000 | 0.0005 | 0.0001 |
| | 933 | 950 | 963 | 983 | 968 | 950 |
| V | 0.26006 | 0.16033 | 0.08789 | 0.11212 | 1.00000 | 0.12895 |
| | 0.0001 | 0.0001 | 0.0065 | 0.0005 | 0.0000 | 0.0001 |
| | 927 | 942 | 956 | 968 | 977 | 947 |
| VI | 0.20189 | 0.09027 | 0.00405 | 0.16253 | 0.12895 | 1.00000 |
| | 0.0001 | 0.0061 | 0.9013 | 0.0001 | 0.0001 | 0.0000 |
| | 915 | 923 | 938 | 950 | 947 | 959 |

CORRELATION COEFFICIENTS / PROB > IRI UNDER
HO: RHO = 0 / NUMBER OF OBSERVATIONS

Table 5 学部別の合成得点の平均とS D

| 尺度 | 全 体 | | 体 育 学 部 | | 他 学 部 | |
|-----|------|------|---------|------|-------|------|
| | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D |
| I | 3.36 | 0.78 | 3.32 | 0.76 | 3.39 | 0.79 |
| II | 3.29 | 0.72 | 3.43 | 0.71 | 3.19 | 0.71 |
| III | 4.18 | 0.64 | 4.23 | 0.64 | 4.14 | 0.63 |
| IV | 3.33 | 0.88 | 3.41 | 0.81 | 3.27 | 0.92 |
| V | 2.93 | 0.93 | 2.87 | 0.87 | 2.97 | 0.96 |
| VI | 3.12 | 0.85 | 3.21 | 0.79 | 3.05 | 0.88 |

Table 6 各尺度の合成得点の、学部間でのt検定の結果有意だった尺度

| 尺度 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
|-----|------|-----|--------|-----|
| II | 5.24 | 954 | .01 ** | 体 |
| III | 2.14 | 970 | .05 * | 体 |
| IV | 2.47 | 956 | .05 * | 体 |
| VI | 2.80 | 929 | .01 ** | 体 |

Table 7 性別の合成得点の平均とSD

| 尺度 | 男 | | 女 | |
|-----|------|------|------|------|
| | 平均 | SD | 平均 | SD |
| I | 3.33 | 0.79 | 3.46 | 0.72 |
| II | 3.24 | 0.72 | 3.51 | 0.68 |
| III | 4.14 | 0.65 | 4.32 | 0.57 |
| IV | 3.31 | 0.88 | 3.39 | 0.85 |
| V | 2.94 | 0.95 | 2.86 | 0.84 |
| VI | 3.18 | 0.86 | 2.92 | 0.78 |

Table 8 各尺度の合成得点の、性別でのt検定の結果有意だった尺度

| 尺度 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
|-----|------|-----|--------|-----|
| I | 2.13 | 934 | .05 * | 女 |
| II | 4.87 | 949 | .01 ** | 女 |
| III | 4.00 | 366 | .01 ** | 女 |
| VI | 4.03 | 952 | .01 ** | 男 |

Table 9 学年別の合成得点の平均とSD

| 尺度 | 低 学 年 | | 高 学 年 | |
|-----|-------|------|-------|------|
| | 平均 | SD | 平均 | SD |
| I | 3.32 | 0.76 | 3.39 | 0.79 |
| II | 3.25 | 0.72 | 3.34 | 0.72 |
| III | 4.16 | 0.67 | 4.19 | 0.61 |
| IV | 3.29 | 0.86 | 3.38 | 0.89 |
| V | 2.94 | 0.90 | 2.91 | 0.95 |
| VI | 3.05 | 0.87 | 3.18 | 0.81 |

Table 10 各尺度の合成得点の、学年間でのt検定の結果有意だった尺度

| 尺度 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
|----|------|-----|-------|-----|
| II | 2.15 | 954 | .05 * | 高 |
| VI | 2.37 | 957 | .05 * | 高 |

Table 11 学部別の男と女の合成得点の平均とS D

| 尺度 | 体 育 学 部 | | | | 他 学 部 | | | |
|-----|---------|------|------|------|-------|------|------|------|
| | 男 | | 女 | | 男 | | 女 | |
| | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D |
| I | 3.27 | 0.77 | 3.46 | 0.74 | 3.37 | 0.80 | 3.47 | 0.70 |
| II | 3.34 | 0.70 | 3.68 | 0.66 | 3.17 | 0.72 | 3.31 | 0.66 |
| III | 4.18 | 0.64 | 4.36 | 0.61 | 4.11 | 0.65 | 4.28 | 0.53 |
| IV | 3.37 | 0.84 | 3.52 | 0.74 | 3.27 | 0.91 | 3.25 | 0.95 |
| V | 2.85 | 0.90 | 2.92 | 0.80 | 3.01 | 0.98 | 2.78 | 0.87 |
| VI | 3.28 | 0.73 | 3.00 | 0.77 | 3.11 | 0.90 | 2.83 | 0.78 |

Table 12 各尺度の合成得点の、学部別の男女間での t 検定の結果

| 体 育 学 部 | | | | | 他 学 部 | | | | |
|---------|------|-----|--------|-----|-------|------|-----|--------|-----|
| 尺度 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 | 尺度 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| I | 2.18 | 403 | .05 * | 女 | III | 2.82 | 172 | .01 ** | 女 |
| II | 4.43 | 411 | .01 ** | 女 | V | 2.20 | 548 | .05 * | 男 |
| III | 2.54 | 412 | .05 * | 女 | VI | 2.92 | 540 | .01 ** | 男 |
| VI | 3.28 | 410 | .01 ** | 男 | | | | | |

Table 13 各尺度の合成得点の、男女別の学部間での t 検定の結果

| 男 子 | | | | | 女 子 | | | | |
|-----|------|-----|--------|-----|-----|------|-----|--------|-----|
| 尺度 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 | 尺度 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| II | 3.29 | 742 | .01 ** | 体 | II | 4.00 | 205 | .01 ** | 体 |
| V | 2.41 | 758 | .05 * | 他 | IV | 2.28 | 187 | .05 * | 体 |
| VI | 2.74 | 699 | .01 ** | 体 | | | | | |

知」については男子が有意に高い値を示した。

Table 9 には学年別に尺度ごとの平均値を示した。Table 10 にはその平均値の差の検定結果を示した。これによれば、「運動への関心」、「自己認知」で高学年が高い値を示すことが明らかである。学部別、性別の検討に比べて有意な差のある尺度は少なかった。

以上の検討に加えて、学部別、性別、学年別の3条件を組み合わせて平均

Table 14 学部別の高学年と低学年の合成得点の平均とS D

| 尺度 | 体 育 学 部 | | | | 他 学 部 | | | |
|-----|---------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 低 学 年 | | 高 学 年 | | 低 学 年 | | 高 学 年 | |
| | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D |
| I | 3.35 | 0.74 | 3.28 | 0.79 | 3.30 | 0.78 | 3.48 | 0.79 |
| II | 3.43 | 0.74 | 3.43 | 0.67 | 3.11 | 0.67 | 3.28 | 0.74 |
| III | 4.26 | 0.68 | 4.19 | 0.59 | 4.09 | 0.65 | 4.19 | 0.62 |
| IV | 3.37 | 0.82 | 3.45 | 0.81 | 3.23 | 0.88 | 3.32 | 0.95 |
| V | 2.87 | 0.92 | 2.87 | 0.83 | 2.99 | 0.89 | 2.95 | 1.03 |
| VI | 3.14 | 0.85 | 3.27 | 0.73 | 3.00 | 0.89 | 3.11 | 0.87 |

Table 15 各尺度の合成得点の、学部別の学年間での t 検定の結果

| 体 育 学 部 | 他 学 部 | | | | |
|---------------|-------|------|-----|--------|-----|
| 各尺度間すべて N. S. | 尺度 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| | I | 2.58 | 534 | .05 * | 高 |
| | II | 2.85 | 541 | .01 ** | 高 |

Table 16 各尺度の合成得点の、学年別の学部間での t 検定の結果

| 低 学 年 | | | | | 高 学 年 | | | | |
|-------|------|-----|--------|-----|-------|------|-----|--------|-----|
| 尺度 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 | 尺度 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| II | 5.12 | 482 | .01 ** | 体 | I | 2.64 | 466 | .01 ** | 他 |
| III | 2.88 | 489 | .01 ** | 体 | II | 2.31 | 470 | .05 * | 体 |
| | | | | | VI | 2.18 | 478 | .05 * | 体 |

値を求めた結果について次に吟味する。

Table 11 は学部と性別の2条件を組み合わせて平均値を求めた結果である。Table 12 には、学部別に男女間の合成得点の平均値の差の検定結果を示した。また、Table 13 には、性別に合成得点の平均値の差を学部間で検定した結果を示した。体育学部では、I, II, IIIの尺度で女子が有意に高い結果であり、VIの尺度では男子が有意に高い結果であった。他学部では、

Table 17 男女別の低学年と高学年の合成得点の平均とS D

| 尺度 | 男 | | | | 女 | | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 低学年 | | 高学年 | | 低学年 | | 高学年 | |
| | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D |
| I | 3.29 | 0.79 | 3.37 | 0.78 | 3.43 | 0.64 | 3.49 | 0.79 |
| II | 3.20 | 0.72 | 3.28 | 0.72 | 3.42 | 0.70 | 3.59 | 0.66 |
| III | 4.14 | 0.68 | 4.14 | 0.62 | 4.26 | 0.61 | 4.38 | 0.53 |
| IV | 3.28 | 0.85 | 3.35 | 0.92 | 3.32 | 0.90 | 3.45 | 0.81 |
| V | 2.96 | 0.93 | 2.93 | 0.97 | 2.86 | 0.83 | 2.85 | 0.85 |
| VI | 3.13 | 0.89 | 3.23 | 0.82 | 2.78 | 0.75 | 3.04 | 0.79 |

Table 18 各尺度の合成得点の、男女別の学年間でのt検定の結果

| 男子 | | 女子 | | | | |
|-------------|--|----|------|-----|-------|-----|
| 各尺度間すべてN.S. | | 尺度 | t値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| | | VI | 2.38 | 209 | .05 * | 高 |

Table 19 各尺度の合成得点の、学年別の男女間でのt検定の結果

| 低学年 | | | | | 高学年 | | | | |
|-----|------|-----|--------|-----|-----|------|-----|--------|-----|
| 尺度 | t値 | d f | 有意水準 | 高い方 | 尺度 | t値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| II | 2.79 | 479 | .01 ** | 女 | II | 4.03 | 468 | .01 ** | 女 |
| VI | 3.92 | 180 | .01 ** | 男 | III | 4.05 | 200 | .01 ** | 女 |
| | | | | | VI | 2.24 | 476 | .05 * | 男 |

III, Vの尺度で女子が, VIの尺度で男子が有意に値が高いという結果であった。尺度III「健康への関心」は学部を問わず一貫して女子が男子より高く, 一方, 尺度VI「自己認知」は学部を問わず男子が一貫して高い。I, II, Vの各尺度についての性差は学部による違いがみられた。男子の中では, II, VIの尺度で体育学部の学生が高く, Vの尺度では他学部の学生が高い値を示すことが明らかとなった。女子は, II, IVの尺度で体育学部学

生の方が有意に高い値を示した。尺度Ⅱ「運動への関心」は性別を問わず体育学部学生の方が高いという結果であった。Ⅳ、Ⅴ、Ⅵの各尺度では性別に学部間の特徴がみられた。

Table 14 には、学部と学年の2条件を組み合わせて平均値を求めた結果を示し、Table 15 には、学部別に学年間の合成得点の差の検定結果を示した。また、Table 16 には、学年別に学部間の合成得点の差の検定結果を示した。体育学部では、6つの尺度の合成得点の学年間の差は見出されず、他学部ではⅠ、Ⅱの尺度で高学年が有意に高い結果であった。低学年では、Ⅱ、Ⅲの両尺度で体育学部学生の方が他学部の学生に比べて有意に高い値を示した。高学年ではⅡ、Ⅵの各尺度で体育学部学生が有意に高い値を示し、Ⅰの尺度では他学部の学生が高い値を示した。「運動への関心(Ⅱ)」については学年を問わず体育学部の学生が高い結果であった。Ⅰ、Ⅲ、Ⅵの各尺度は学年によって(体・他)両学部間の差がみられた。

Table 17 には、性別と学年別の2条件を組み合わせて求めた平均値を示した。Table 18 には男女別に学年間の合成得点の差の検定を行った結果を示した。Table 19 には学年別に男女間の合成得点の差の検定を行った結果を示した。男子については各尺度で学年差は見出されなかった。女子では尺度Ⅵで高学年が有意に高い値を示した。低学年の中では、尺度Ⅱで女子が、尺度Ⅵで男子が有意に高い値を示した。同様の結果は高学年でもみられた。高学年ではさらにⅢの尺度で女子が有意に高い値を示した。「運動への関心(Ⅱ)」は学年を問わず女子が高く、「自己認知(Ⅵ)」は学年を問わず男子が高いという結果であった。

さて、次に Table 2 から Table 19 までの結果を、尺度ごとにまとめてみたい。

(1) 「心身の相関(Ⅰ)」では、体育学部学生と他学部学生との間に差は認められなかった。性別、学年別の検討を加えたところ、高学年では他学部学生の方が体育学部学生よりも心身の相関を認める方向の結果を示したが、被調査者全体の傾向には影響を与えなかった。男子と女子との比較では、女子の方が心身の相関を認める傾向がある。この差についてさらに学

部別、学年別の検討を加えたところ、体育学部で有意な性差が認められた。この体育学部の性差は、女子の得点が他学部と比べて高いのではなく、男子の得点が低いことに多く起因していると思われる。低学年と高学年の差は全体としては見出されなかった。学部別、性別の検討では、他学部で高学年が低学年より有意に高いという結果が見出された。

心身の相関については全体の平均値が3.36と3以上の値を示しており、それを認める方向の結果であった。また、女子にそれを認める傾向が強い。さらに、高学年になるにしたがって、心身の相関を認める程度の違いが、体育学部とそれ以外の学部との間で大きくなる傾向をうかがうことができる。

(2) 「運動への関心(Ⅱ)」では、体育学部学生が他学部学生に比べて有意に高く、性別では、男子に比べて女子が有意に高い結果であった。学年別には、高学年の方が有意に高いことが示された。体育学部学生の運動への関心の高さは、男女を問わず、学年を問わず認められた。性差については、他学部学生では有意でなかったが、体育学部学生の場合、全体として見ても、学年別にみても、ともに女子の方が関心が高いという結果であった。学年差は他学部の合成得点で有意に高学年が高いことが認められた。

運動への関心は全体の平均値が3.30と3以上の値を示しており、今回の被調査者はやや高いという方向の結果であった。学部別では体育学部学生が他学部学生に比べて一貫して高い。これは体育学部に対する一般的印象と一致する方向の結果であった。また、性別の検討では女子の方に関心が高い結果がみられた。この結果は体育学部において明らかにみられた。また学年差にかかわりなくみられた結果である。学年別には、高学年で関心が高まるという結果がみられた。これは主に他学部学生にみられる差の大きさが反映していると考えられる。

(3) 「健康への関心(Ⅲ)」では、体育学部学生が他学部学生よりも高い値を示した。男子と女子では女子の方が高い。学年差は認められなかった。体育学部で関心が高いという結果はしかし、性別、学年別の検討では低学年で見出されたにとどまった。女子の関心が高いという結果は体育学部、

他学部いずれでも見出された。学年別には高学年で女子が高い値を示した。学年の推移に伴う健康への関心の増減は、学部別、性別の検討のいずれでも見出されなかった。

健康への関心は全体の平均値が 4.18 と、他の尺度の結果よりも高い値を示した。運動への関心と同様、体育学部学生が他学部学生より高かった。ただし、その差は低学年時の結果を反映したものであり、高学年時および性別の検討では差は見出されていない。運動への関心ほどには体育学部学生の文化特徴とはなっていないことがうかがわれる。男子と女子の比較では、これも運動への関心と類似した結果がみられた。体育学部でも、女子の方が男子よりも関心が高いという結果であった。学年差は一貫して認められなかった。

(4) 「ファッション性 (IV)」では、体育学部学生が他学部学生に比べて高い値を示した。この結果は女子の学部間の差による所が大きい。性差、学年差は見出されなかった。それぞれを学部別、学年別に検討しても差は示されなかった。

ファッション性については、全体の平均値が 3.33 と 3 よりも高く、各項目内容についてややポジティブに捉える方向の結果であった。ただし、著しいものではない。学部別では、体育学部学生、それも女子で高い関心がみられた。質問項目としてスポーツに関わるものが半数を占めたために、彼女らは積極的な回答をしたのかもしれない。性差、学年差は認められなかった。項目の半数は服装、化粧に関するものであったが、それでも性差が認められなかったことは興味深い。

(5) 「身体と権威主義との相関 (V)」では、他学部の男子学生が体育学部の学生に比べて高い値を示した他は有意な差は認められなかった。全体の平均値は 2.93 と 3 以下であり、身体への強い関心や自信が権威主義と結びつくといった考え方は学生の身体文化の特徴とはならないことが示された。

(6) 「(自身の健康、身体への) 自己認知 (VI)」については、体育学部学生が他学部学生よりもポジティブであり、女子より男子、低学年より高

学年の方がポジティブであるという結果がみられた。体育学部の場合は、高学年と男子が、低学年と女子よりも高い値を示した。男子は学部別、学年別すべての比較で女子よりも自己認知がポジティブであった。学年別で見出された差は女子にみられた学年差の結果が大きく反映している。

自己認知の結果は、全体の平均値は3.12であるが、女子は2.92と3を割る値であった。総じて体育学部学生の方が値は高く、又高学年でポジティブな方向の結果がみられる。しかしとりわけ、一貫して女子の自己認知が男子に比べて低いことが特徴的であった。この結果は、柏木(1973)が指摘するように、女性役割次元の中核に美にかかわる因子があること、そのため自身の形態等について高い要求水準をもっている可能性があることが原因となっていよう。

尺度別検討の終りに、被調査者が、6つの尺度についてどのようなパターンの回答をしたかを付しておく。被調査者個人の尺度ごとの合成得点が全体の平均値以上か未満かで低、高に分けてプロフィールを描く。同じプロフィールを示した者の割合を求め、学部別、性別に限って、どのよう

| 学部 | 尺度名 | 低 | 高 | 低 | 高 | 低 | 高 |
|------|---------------|---|------|-----|---|-----|---|
| 体育学部 | I. 心身の相関 | | ● | ● | | | ● |
| | II. 運動への関心 | | ● | ● | | | ● |
| | III. 健康への関心 | | ● | ● | | | ● |
| | IV. ファッション性 | | ● | ● | ● | | ● |
| | V. 身体と権威主義の相関 | | ● | ● | ● | ● | ● |
| | VI. 自己認知 | | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 比率(%) | | 12.8 | 6.3 | | 4.9 | |
| 他学部 | I. 心身の相関 | ● | | | ● | ● | |
| | II. 運動への関心 | ● | | | ● | ● | |
| | III. 健康への関心 | ● | | | ● | ● | |
| | IV. ファッション性 | ● | | ● | ● | ● | |
| | V. 身体と権威主義の相関 | ● | | ● | ● | ● | ● |
| | VI. 自己認知 | ● | | ● | ● | ● | ● |
| | 比率(%) | | 6.4 | 6.4 | | 6.2 | |

Fig 1 学部別の各尺度の評定値の高低によるデータパターン

| 性別 | 尺度名 | 低 | 高 | 低 | 高 | 低 | 高 |
|-------|---------------|-----|---|-----|---|-----|---|
| 男子 | I. 心身の相関 | | ● | ● | | ● | |
| | II. 運動への関心 | | ● | ● | | ● | |
| 女子 | III. 健康への関心 | | ● | ● | | ● | |
| | IV. ファッション性 | | ● | ● | | ● | |
| 男子 | V. 身体と権威主義の相関 | | ● | ● | ● | ● | |
| | VI. 自己認知 | | ● | ● | ● | ● | |
| 比率(%) | | 9.5 | | 7.1 | | 5.5 | |
| 女子 | I. 心身の相関 | | ● | ● | | ● | |
| | II. 運動への関心 | | ● | ● | | ● | |
| 男子 | III. 健康への関心 | | ● | ● | | ● | |
| | IV. ファッション性 | | ● | ● | | ● | |
| 女子 | V. 身体と権威主義の相関 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | VI. 自己認知 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 比率(%) | | 9.3 | | 8.8 | | 6.0 | |

Fig 2 性別の各尺度の評定値の高低によるデータパターン

なパターンの回答が多いかを検討する。Fig. 1 は学部別の結果である。

そこでは6尺度すべてで高い値の回答をした者が体育学部で12.8%と最も多かった。体育学部の第2位はVを除き低い値の回答であり、ほぼ対照的なパターンである。他学部は体育学部とは違って6尺度すべてで低い値の回答が、すべてで高い値の回答と同じ割合だけみられる。両学部ともに特定のパターンに回答者の多数が分類されるということではなく、多様な回答の実態が示された。また、対照的なパターンがほぼ同数みられているのも興味深い。

Fig. 2 には男女別に回答のパターンを示した。ここでも特定のパターンに多数が分類されるという結果はみられなかった。ただ、女子の場合は上位3パターンが各尺度で比較的高い値を示していた。

2 項目別の検討

大学生の身体文化の全体的な記述は、尺度別の検討で一応終わっている。ここでは項目別の集計結果を示して、若干の補足的検討を加えることにしたい。

Table 20 学部別、性別、学年別の平均とS D

| 項目 | 全体 | | 体育学部 | | 他学部 | | 男 | | 女 | | 低学年 | | 高学年 | |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D |
| 1 | 3.48 | 1.13 | 3.41 | 1.10 | 3.54 | 1.14 | 3.46 | 1.17 | 3.54 | 0.96 | 3.43 | 1.11 | 3.53 | 1.15 |
| 2 | 4.38 | 0.85 | 4.35 | 0.89 | 4.41 | 0.82 | 4.38 | 0.86 | 4.38 | 0.79 | 4.40 | 0.85 | 4.36 | 0.85 |
| 3 | 3.30 | 1.41 | 3.17 | 1.43 | 3.39 | 1.39 | 3.22 | 1.44 | 3.56 | 1.27 | 3.24 | 1.42 | 3.36 | 1.40 |
| 4 | 3.95 | 1.06 | 4.11 | 1.00 | 3.82 | 1.09 | 3.93 | 1.08 | 4.01 | 1.00 | 3.89 | 1.12 | 4.00 | 1.01 |
| 5 | 2.87 | 1.35 | 3.00 | 1.29 | 2.76 | 1.38 | 2.67 | 1.33 | 3.56 | 1.18 | 2.80 | 1.36 | 2.92 | 1.34 |
| 6 | 3.85 | 1.07 | 3.79 | 1.10 | 3.89 | 1.05 | 3.79 | 1.09 | 4.06 | 0.97 | 3.76 | 1.11 | 3.94 | 1.01 |
| 7 | 3.18 | 1.17 | 3.54 | 1.09 | 2.90 | 1.15 | 3.15 | 1.20 | 3.29 | 1.02 | 3.09 | 1.19 | 3.26 | 1.14 |
| 8 | 3.06 | 1.30 | 2.98 | 1.25 | 3.11 | 1.33 | 3.01 | 1.34 | 3.22 | 1.12 | 3.09 | 1.30 | 3.02 | 1.29 |
| 9 | 3.76 | 1.25 | 3.98 | 1.14 | 3.59 | 1.31 | 3.77 | 1.26 | 3.72 | 1.22 | 3.70 | 1.28 | 3.83 | 1.22 |
| 10 | 4.31 | 0.92 | 4.32 | 0.92 | 4.30 | 0.92 | 4.26 | 0.96 | 4.47 | 0.71 | 4.33 | 0.89 | 4.29 | 0.95 |
| 11 | 2.98 | 1.33 | 2.88 | 1.33 | 3.05 | 1.33 | 2.94 | 1.37 | 3.09 | 1.18 | 2.88 | 1.34 | 3.08 | 1.31 |
| 12 | 3.49 | 1.18 | 3.49 | 1.14 | 3.49 | 1.21 | 3.45 | 1.21 | 3.61 | 1.04 | 3.40 | 1.18 | 3.56 | 1.18 |
| 13 | 2.58 | 1.15 | 2.64 | 1.13 | 2.54 | 1.16 | 2.67 | 1.15 | 2.28 | 1.08 | 2.50 | 1.17 | 2.66 | 1.12 |
| 14 | 3.48 | 1.03 | 3.51 | 0.96 | 3.45 | 1.09 | 3.51 | 1.04 | 3.34 | 0.98 | 3.57 | 0.99 | 3.38 | 1.07 |
| 15 | 2.85 | 1.01 | 2.80 | 0.97 | 2.90 | 1.04 | 2.87 | 1.04 | 2.79 | 0.90 | 2.88 | 1.00 | 2.83 | 1.02 |
| 16 | 3.26 | 1.02 | 3.36 | 1.00 | 3.19 | 1.02 | 3.24 | 1.04 | 3.34 | 0.91 | 3.20 | 1.04 | 3.32 | 0.99 |
| 17 | 3.61 | 1.16 | 3.67 | 1.12 | 3.56 | 1.19 | 3.59 | 1.19 | 3.70 | 1.06 | 3.53 | 1.20 | 3.68 | 1.11 |
| 18 | 3.01 | 1.10 | 3.01 | 1.07 | 3.01 | 1.12 | 2.96 | 1.12 | 3.21 | 1.01 | 2.96 | 1.11 | 3.07 | 1.09 |
| 19 | 3.93 | 1.05 | 3.94 | 1.03 | 3.92 | 1.06 | 3.96 | 1.04 | 3.80 | 1.06 | 3.92 | 1.09 | 3.94 | 1.00 |
| 20 | 3.65 | 1.16 | 3.70 | 1.11 | 3.62 | 1.20 | 3.62 | 1.20 | 3.79 | 1.02 | 3.62 | 1.19 | 3.69 | 1.14 |
| 21 | 3.30 | 1.02 | 3.32 | 0.97 | 3.28 | 1.05 | 3.22 | 1.03 | 3.58 | 0.92 | 3.30 | 1.01 | 3.29 | 1.01 |
| 22 | 4.20 | 0.88 | 4.22 | 0.89 | 4.19 | 0.88 | 4.18 | 0.89 | 4.29 | 0.85 | 4.14 | 0.94 | 4.26 | 0.83 |
| 23 | 3.24 | 1.13 | 3.47 | 1.06 | 3.06 | 1.15 | 3.22 | 1.15 | 3.29 | 1.06 | 3.19 | 1.16 | 3.29 | 1.10 |
| 24 | 3.53 | 1.09 | 3.61 | 1.06 | 3.47 | 1.11 | 3.56 | 1.10 | 3.42 | 1.05 | 3.47 | 1.08 | 3.60 | 1.09 |
| 25 | 4.11 | 0.97 | 4.18 | 0.93 | 4.07 | 1.00 | 4.06 | 1.02 | 4.33 | 0.76 | 4.09 | 1.00 | 4.14 | 0.94 |
| 26 | 3.95 | 1.02 | 3.99 | 0.98 | 3.92 | 1.04 | 3.89 | 1.04 | 4.19 | 0.91 | 3.95 | 1.04 | 3.96 | 1.00 |
| 27 | 2.95 | 1.11 | 2.93 | 1.07 | 2.96 | 1.15 | 2.93 | 1.14 | 3.03 | 0.99 | 2.98 | 1.12 | 2.91 | 1.11 |
| 28 | 2.85 | 1.19 | 2.87 | 1.17 | 2.84 | 1.20 | 2.97 | 1.21 | 2.45 | 1.04 | 2.80 | 1.24 | 2.91 | 1.13 |
| 29 | 3.57 | 0.94 | 3.53 | 0.92 | 3.60 | 0.96 | 3.61 | 0.94 | 3.43 | 0.93 | 3.56 | 0.95 | 3.57 | 0.94 |
| 30 | 2.99 | 1.04 | 2.93 | 0.99 | 3.03 | 1.08 | 3.01 | 1.07 | 2.93 | 0.94 | 3.00 | 1.03 | 2.98 | 1.06 |
| 31 | 3.05 | 1.25 | 3.20 | 1.25 | 2.93 | 1.24 | 2.98 | 1.24 | 3.29 | 1.28 | 2.96 | 1.27 | 3.14 | 1.23 |
| 32 | 3.87 | 0.99 | 3.90 | 0.95 | 3.85 | 1.01 | 3.85 | 1.01 | 3.94 | 0.91 | 3.85 | 0.99 | 3.89 | 0.98 |
| 33 | 4.31 | 0.86 | 4.42 | 0.81 | 4.22 | 0.88 | 4.30 | 0.87 | 4.31 | 0.81 | 4.31 | 0.87 | 4.29 | 0.85 |
| 34 | 3.01 | 1.16 | 3.05 | 1.11 | 2.99 | 1.20 | 2.96 | 1.18 | 3.20 | 1.09 | 3.02 | 1.15 | 3.01 | 1.17 |

Table 20 には、用いた質問項目 34 すべてについて、被調査者全員の平均値と SD、学部別の集計、性別の集計、学年別の集計を示した。また、学部間の平均値の差の検定結果、男女間の平均値の差の検定結果、学年間の平均値の差の検定結果はそれぞれ Table 21, Table 22, Table 23 に示した。

Table 21 学部別の各項目の平均値の差の t 検定の結果、有意であった項目

| 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
|----|------|-----|--------|-----|
| 3 | 2.44 | 996 | .05 * | 他 |
| 4 | 4.27 | 980 | .01 ** | 体 |
| 5 | 2.84 | 999 | .01 ** | 体 |
| 7 | 8.92 | 993 | .01 ** | 体 |
| 9 | 4.85 | 998 | .01 ** | 体 |
| 16 | 2.62 | 998 | .01 ** | 体 |
| 23 | 5.72 | 984 | .01 ** | 体 |
| 31 | 3.44 | 980 | .01 ** | 体 |
| 33 | 3.71 | 990 | .01 ** | 体 |

Table 22 男女別の各項目の平均値の差の t 検定の結果、有意であった項目

| 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
|----|------|-----|--------|-----|
| 3 | 3.16 | 991 | .01 ** | 女 |
| 5 | 8.96 | 994 | .01 ** | 女 |
| 6 | 3.20 | 982 | .01 ** | 女 |
| 8 | 2.09 | 987 | .05 * | 女 |
| 10 | 2.98 | 994 | .01 ** | 女 |
| 13 | 4.44 | 986 | .01 ** | 男 |
| 14 | 2.16 | 985 | .05 * | 男 |
| 18 | 3.00 | 988 | .01 ** | 女 |
| 19 | 1.98 | 986 | .01 ** | 男 |
| 21 | 4.60 | 985 | .01 ** | 女 |
| 25 | 3.62 | 985 | .01 ** | 女 |
| 26 | 3.93 | 980 | .01 ** | 女 |
| 28 | 5.70 | 979 | .01 ** | 男 |
| 29 | 2.39 | 975 | .05 * | 男 |
| 31 | 3.22 | 975 | .01 ** | 女 |
| 34 | 2.66 | 986 | .01 ** | 女 |

Table 23 学年別の各項目の平均値の差の t 検定の結果、有意であった項目

| 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
|----|------|-----|--------|-----|
| 6 | 2.69 | 981 | .01 ** | 高 |
| 7 | 2.25 | 993 | .05 * | 高 |
| 11 | 2.36 | 995 | .05 * | 高 |
| 12 | 2.16 | 988 | .05 * | 高 |
| 13 | 2.21 | 991 | .05 * | 高 |
| 14 | 2.78 | 990 | .01 ** | 低 |
| 17 | 2.09 | 995 | .05 * | 高 |
| 22 | 2.05 | 971 | .05 * | 高 |
| 31 | 2.33 | 980 | .05 * | 高 |

(1) 被調査者全体の結果では、平均値が4.00以上のものが5項目認められた。すなわち、「2. スポーツの能力の高い身体は望ましい」、「10. 良いといわれる食品をとることや、食べすぎないなど、食事に気をつけることは好ましい」、「22. 今の社会では、身体の健康への関心が高い」、「25. 良いといわれる食品をとることや、食べすぎないなど、食事に気をつけたい」、「33. スポーツの能力の高い身体を得たい」の各項目が高い値を示した。一方、平均値が3.00に満たない項目は7項目みられた。そのほとんどは3.00に近い値であったが、「13. 私は自分の身体の外見に満足している」ということについてはややネガティブな方向の結果が認められたのである。

(2) 学部間で有意な差の見出された項目数は9個であり、全体の26%を占める。項目数では差のないものの方が多い。全般に世間一般の体育学部イメージを裏付ける結果が多い。ただ、身体の健康と心の健康が直接つながるか否かに関する項目3では、他学部学生の方が肯定的であり、体育学部学生は「どちらでもない」という意見に近いものであった。これは体育学部学生の方が心身の相関に関して認知的に複雑であることをうかがわせる結果である。また、ファッション性の強い身体活動に対しては一貫して体育学部学生が他学部学生に比べて強い関心を示していることも特徴的であった。

(3) 男女間で有意な差の認められた項目は16個あり、全体の47%を占めた。女子の場合は、項目3、8にみられるように、健康観では男子に比べて単純な捉え方をしている。他方男子は女子に比べて身体の個性の形成因について、項目14と29のように相反する内容をもつ項目とともに賛成の方向の回答をするといった矛盾がみられる。また、項目26のように、美しい身体への願望が女子に強いのは、女子の性役割観が強くかかわっているからだと思われる。その他の項目の結果は一般的な性差を反映しているように思われる。

(4) 学年別の検定で差の認められた項目は9個あり、全体の26%を占めた。差のない項目の方が多い結果であった。差のある項目では高学年の

Table 24 学部×性別で分けた場合の
平均とS D

| 項目 | 体育学部 | | | | 他学部 | | | |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 男 | | 女 | | 男 | | 女 | |
| | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D |
| 1 | 3.38 | 1.14 | 3.49 | 0.98 | 3.52 | 1.18 | 3.60 | 0.94 |
| 2 | 4.36 | 0.90 | 4.32 | 0.84 | 4.40 | 0.84 | 4.46 | 0.72 |
| 3 | 3.09 | 1.46 | 3.39 | 1.32 | 3.31 | 1.42 | 3.76 | 1.19 |
| 4 | 4.09 | 1.03 | 4.16 | 0.91 | 3.81 | 1.10 | 3.85 | 1.06 |
| 5 | 2.72 | 1.26 | 3.77 | 1.05 | 2.64 | 1.37 | 3.34 | 1.28 |
| 6 | 3.69 | 1.12 | 4.07 | 0.99 | 3.86 | 1.07 | 4.04 | 0.95 |
| 7 | 3.53 | 1.15 | 3.56 | 0.91 | 2.89 | 1.16 | 2.98 | 1.06 |
| 8 | 2.89 | 1.28 | 3.22 | 1.13 | 3.09 | 1.37 | 3.22 | 1.12 |
| 9 | 3.97 | 1.17 | 4.00 | 1.03 | 3.63 | 1.30 | 3.41 | 1.34 |
| 10 | 4.28 | 0.96 | 4.43 | 0.78 | 4.25 | 0.96 | 4.51 | 0.64 |
| 11 | 2.81 | 1.36 | 3.07 | 1.20 | 3.03 | 1.36 | 3.12 | 1.16 |
| 12 | 3.41 | 1.18 | 3.70 | 0.98 | 3.48 | 1.23 | 3.51 | 1.10 |
| 13 | 2.76 | 1.13 | 2.33 | 1.06 | 2.61 | 1.16 | 2.22 | 1.11 |
| 14 | 3.55 | 0.95 | 3.42 | 0.97 | 3.49 | 1.10 | 3.25 | 0.99 |
| 15 | 2.77 | 1.00 | 2.87 | 0.88 | 2.94 | 1.06 | 2.71 | 0.93 |
| 16 | 3.30 | 1.04 | 3.50 | 0.88 | 3.19 | 1.05 | 3.17 | 0.92 |
| 17 | 3.60 | 1.14 | 3.87 | 1.02 | 3.57 | 1.22 | 3.51 | 1.08 |
| 18 | 2.92 | 1.09 | 3.27 | 0.95 | 2.98 | 1.13 | 3.15 | 1.08 |
| 19 | 3.96 | 1.04 | 3.89 | 1.00 | 3.96 | 1.04 | 3.70 | 1.12 |
| 20 | 3.65 | 1.15 | 3.85 | 0.99 | 3.59 | 1.23 | 3.72 | 1.05 |
| 21 | 3.20 | 0.97 | 3.63 | 0.90 | 3.23 | 1.06 | 3.52 | 0.95 |
| 22 | 4.17 | 0.92 | 4.34 | 0.82 | 4.18 | 0.87 | 4.24 | 0.90 |
| 23 | 3.47 | 1.08 | 3.48 | 1.00 | 3.06 | 1.17 | 3.07 | 1.07 |
| 24 | 3.64 | 1.06 | 3.53 | 1.04 | 3.51 | 1.12 | 3.30 | 1.05 |
| 25 | 4.11 | 0.97 | 4.36 | 0.80 | 4.02 | 1.05 | 4.28 | 0.72 |
| 26 | 3.92 | 1.00 | 4.19 | 0.90 | 3.86 | 1.06 | 4.20 | 0.92 |
| 27 | 2.89 | 1.09 | 3.06 | 1.00 | 2.95 | 1.18 | 3.00 | 0.99 |
| 28 | 3.01 | 1.17 | 2.49 | 1.11 | 2.94 | 1.23 | 2.41 | 0.96 |
| 29 | 3.56 | 0.92 | 3.42 | 0.89 | 3.63 | 0.95 | 3.44 | 0.98 |
| 30 | 2.91 | 1.01 | 2.98 | 0.92 | 3.07 | 1.11 | 2.86 | 0.97 |
| 31 | 3.08 | 1.22 | 3.56 | 1.27 | 2.91 | 1.25 | 2.99 | 1.22 |
| 32 | 3.85 | 0.99 | 4.04 | 0.83 | 3.85 | 1.02 | 3.84 | 0.97 |
| 33 | 4.41 | 0.82 | 4.45 | 0.79 | 4.23 | 0.90 | 4.16 | 0.82 |
| 34 | 2.97 | 1.14 | 3.27 | 1.00 | 2.96 | 1.21 | 3.12 | 1.17 |

方が高い値を示した。項目11, 12のように, 身体的美, 壮健さを高く評価する傾向が高学年で強いのは, 学年差の特徴の1つであろう。ただし, 各項目ともに, 今回の調査内容だけからは, 差の説明は難しい。

次に, 学部, 性別, 学年を2つずつ組合せて平均値を求めた結果を示す。

Table 24 は学部と性別を組み合わせ集計した結果である。さらに Table 25 には学部別に男子と女子の平均値の差の検定を行った結果を示し, Table 26 には男女別に学部間の平均値の差の検定結果を示した。

(1) 体育学部で性差のみられた項目数は13であり, 他学部では10項目で差がみられた。体・他共通して性差のみられた項目は6個ある。体育学部では, 心身の相関にかかわる項目(3, 8, 12)で, 女子に比べて男子が一貫して低い値を示す結果がみられた。ま

Table 25 体育学部と他学部の男子と女子の平均の差の t 検定の結果、有意だった項目

| 体 育 学 部 | | | | | 他 学 部 | | | | |
|---------|------|-----|--------|-----|-------|------|-----|--------|-----|
| 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 | 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| 5 | 8.58 | 235 | .01 ** | 女 | 3 | 3.32 | 172 | .01 ** | 女 |
| 6 | 3.18 | 422 | .01 ** | 女 | 5 | 4.78 | 567 | .01 ** | 女 |
| 8 | 2.41 | 424 | .05 * | 女 | 10 | 3.40 | 218 | .01 ** | 女 |
| 12 | 2.49 | 233 | .05 * | 女 | 13 | 3.15 | 562 | .01 ** | 男 |
| 13 | 3.47 | 422 | .01 ** | 男 | 15 | 2.06 | 562 | .05 * | 男 |
| 17 | 2.17 | 425 | .05 * | 女 | 19 | 2.23 | 563 | .05 * | 男 |
| 18 | 2.94 | 425 | .01 ** | 女 | 21 | 2.51 | 560 | .05 * | 女 |
| 21 | 4.08 | 423 | .01 ** | 女 | 25 | 3.17 | 209 | .01 ** | 女 |
| 25 | 2.69 | 237 | .01 ** | 女 | 26 | 2.96 | 557 | .01 ** | 女 |
| 26 | 2.47 | 421 | .05 * | 女 | 28 | 4.75 | 183 | .01 ** | 男 |
| 28 | 4.10 | 421 | .01 ** | 男 | | | | | |
| 31 | 3.58 | 423 | .01 ** | 女 | | | | | |
| 34 | 2.49 | 425 | .05 * | 女 | | | | | |

た、身体表現活動やフィットネスへの志向性は女子が高いという結果もみられた。他学部での性別検討では、女子で、健康保持にかかわる項目(10, 25)へのポジティブな回答が男子より多いという特徴を見出すことができる。体育学部女子が具体的活動を志向しているのに比べて、他学部女子の方は健康保持という形で身体への関心が男子より高いという傾向がうかがえた。

(2) 男子の学部間比較では、11項目で有意な差がみられた。女子では10項目で有意な差がみられた。男女共通して差のあった項目数は6項目であった。男子の他学部学生は、身体健康と心の健康、体力と健康、身体美と価値、身体と権威主義といった、身体にかかわる諸概念を相対的に単純に捉える傾向が認められる。身体活動に実際に深くかかわっている体育学部学生との大きな相違であるように思われる。ただし、女子ではその傾向

Table 26 男女別での体育学部と他学部の平均の差の t 検定の結果、有意だった項目

| 男 子 | | | | | 女 子 | | | | |
|-----|------|-----|--------|-----|-----|------|-----|--------|-----|
| 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 | 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| 3 | 2.07 | 775 | .05 * | 他 | 3 | 2.14 | 214 | .05 * | 他 |
| 4 | 3.48 | 761 | .01 ** | 体 | 4 | 2.28 | 212 | .05 * | 体 |
| 6 | 2.15 | 768 | .05 * | 他 | 5 | 2.68 | 214 | .01 ** | 体 |
| 7 | 7.63 | 776 | .01 ** | 体 | 7 | 4.30 | 210 | .01 ** | 体 |
| 8 | 2.01 | 774 | .05 * | 他 | 9 | 3.59 | 213 | .01 ** | 体 |
| 9 | 3.86 | 716 | .01 ** | 体 | 16 | 2.70 | 214 | .01 ** | 体 |
| 11 | 2.18 | 775 | .05 * | 他 | 17 | 2.49 | 213 | .05 * | 体 |
| 15 | 2.19 | 773 | .05 * | 他 | 23 | 2.91 | 212 | .01 ** | 体 |
| 23 | 4.85 | 765 | .01 ** | 体 | 31 | 3.34 | 210 | .01 ** | 体 |
| 30 | 2.11 | 763 | .05 * | 他 | 33 | 2.68 | 213 | .01 ** | 体 |
| 33 | 2.77 | 770 | .01 ** | 体 | | | | | |

は大きいものではなかった。

Table 27 は、学部と学年を組み合わせ集計した結果である。Table 28 は学部別に学年差を検定した結果、Table 29 は学年別に学部間の平均値の差を検定した結果である。

(3) 体育学部では学年間に差のみられた項目は3項目と少なかった。「体力=健康」という捉え方、身体の個性は主に遺伝によるという考え方が低学年に多いという結果は、学年がすすむにしたがって身体への認知が複雑化することを示唆している。しかし、他学部では9項目で有意な変化が認められたことを考え合わせるとき、体育学部では身体文化の学年間の変化が少ないと言えるであろう。これは尺度別検討結果とも当然一致する結果である。

(4) 学年別には、低学年で体育学部学生と他学部学生の間に差のある項目が13項目と多かった。因子別検討の結果に比べて、個々の側面では低学年の段階では身体にかかわりの深い学部を選んだか否かという進学動機の差のようなことがらが広範に身体文化の差としてみられるように思われ

Table 27 学部×学年で分けた場合の平均とSD

| 項目 | 体育学部 | | | | 他学部 | | | |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 低学年 | | 高学年 | | 低学年 | | 高学年 | |
| | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D |
| 1 | 3.33 | 1.06 | 3.47 | 1.13 | 3.50 | 1.13 | 3.58 | 1.16 |
| 2 | 4.39 | 0.89 | 4.31 | 0.89 | 4.41 | 0.82 | 4.41 | 0.82 |
| 3 | 3.25 | 1.38 | 3.09 | 1.48 | 3.22 | 1.45 | 3.56 | 1.31 |
| 4 | 4.09 | 1.05 | 4.13 | 0.95 | 3.74 | 1.14 | 3.90 | 1.04 |
| 5 | 2.98 | 1.31 | 3.02 | 1.29 | 2.67 | 1.38 | 2.84 | 1.37 |
| 6 | 3.71 | 1.14 | 3.87 | 1.05 | 3.79 | 1.10 | 3.99 | 0.99 |
| 7 | 3.49 | 1.14 | 3.59 | 1.04 | 2.80 | 1.14 | 3.00 | 1.14 |
| 8 | 3.13 | 1.23 | 2.83 | 1.25 | 3.06 | 1.35 | 3.17 | 1.31 |
| 9 | 3.91 | 1.23 | 4.05 | 1.04 | 3.54 | 1.30 | 3.65 | 1.32 |
| 10 | 4.36 | 0.91 | 4.28 | 0.92 | 4.30 | 0.88 | 4.29 | 0.97 |
| 11 | 2.79 | 1.31 | 2.97 | 1.34 | 2.94 | 1.36 | 3.15 | 1.28 |
| 12 | 3.51 | 1.14 | 3.46 | 1.14 | 3.32 | 1.20 | 3.64 | 1.21 |
| 13 | 2.53 | 1.19 | 2.75 | 1.05 | 2.47 | 1.16 | 2.59 | 1.17 |
| 14 | 3.61 | 0.94 | 3.42 | 0.96 | 3.53 | 1.02 | 3.36 | 1.15 |
| 15 | 2.80 | 1.02 | 2.80 | 0.92 | 2.94 | 0.99 | 2.86 | 1.09 |
| 16 | 3.39 | 1.05 | 3.32 | 0.95 | 3.06 | 1.02 | 3.32 | 1.01 |
| 17 | 3.76 | 1.14 | 3.58 | 1.09 | 3.36 | 1.22 | 3.76 | 1.13 |
| 18 | 3.00 | 1.13 | 3.03 | 1.01 | 2.94 | 1.10 | 3.10 | 1.15 |
| 19 | 3.97 | 1.10 | 3.92 | 0.95 | 3.88 | 1.09 | 3.95 | 1.04 |
| 20 | 3.78 | 1.12 | 3.62 | 1.11 | 3.49 | 1.23 | 3.74 | 1.16 |
| 21 | 3.36 | 0.99 | 3.27 | 0.95 | 3.26 | 1.03 | 3.30 | 1.06 |
| 22 | 4.21 | 0.96 | 4.22 | 0.82 | 4.09 | 0.91 | 4.28 | 0.83 |
| 23 | 3.43 | 1.15 | 3.51 | 0.96 | 3.01 | 1.14 | 3.12 | 1.16 |
| 24 | 3.53 | 1.06 | 3.68 | 1.05 | 3.42 | 1.10 | 3.53 | 1.13 |
| 25 | 4.20 | 0.97 | 4.16 | 0.90 | 4.01 | 1.02 | 4.13 | 0.98 |
| 26 | 4.06 | 0.98 | 3.92 | 0.98 | 3.87 | 1.08 | 3.98 | 1.01 |
| 27 | 3.02 | 1.10 | 2.85 | 1.03 | 2.96 | 1.13 | 2.96 | 1.17 |
| 28 | 2.78 | 1.29 | 2.96 | 1.04 | 2.81 | 1.20 | 2.87 | 1.20 |
| 29 | 3.56 | 0.93 | 3.49 | 0.91 | 3.56 | 0.96 | 3.63 | 0.97 |
| 30 | 2.93 | 1.04 | 2.92 | 0.94 | 3.04 | 1.03 | 3.03 | 1.13 |
| 31 | 3.15 | 1.32 | 3.26 | 1.18 | 2.81 | 1.21 | 3.05 | 1.27 |
| 32 | 3.96 | 0.98 | 3.84 | 0.92 | 3.76 | 0.98 | 3.93 | 1.03 |
| 33 | 4.49 | 0.80 | 4.36 | 0.82 | 4.19 | 0.90 | 4.25 | 0.86 |
| 34 | 3.06 | 1.14 | 3.04 | 1.09 | 2.98 | 1.16 | 2.99 | 1.23 |

る。高学年での学部差は6項目と、むしろ学部間の差は平準化されている。

Table 30 には、性別と学年を組み合わせた結果を示した。Table 31 には男女別に学年差を検討した結果、Table 32 には学年別に性差を検定した結果を示した。

(5) 男女ともに学年差の認められた項目は3個ずつと多いものではなかった。各項目を通しての性別の学年的特徴については明らかでない。学年別の男女差は、低学年で8項目、高学年で13項目みられた。学年共通に差のみられた項目は6つあった。学年を通しての性差は、尺度別検討でも多くみられる結果であった。女子ではとくに、高学年ほど、フィットネス活動や服装、化粧への態度が男子に比べてポジティブな方向になる傾向がみられた。

項目ごとの検討の最後に、学部、性別、学年の3

Table 28 学部別での低学年・高学年の平均の差の t 検定の結果、有意だった項目

| 体 育 学 部 | | | | | 他 学 部 | | | | |
|---------|------|-----|-------|-----|-------|------|-----|--------|-----|
| 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 | 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| 8 | 2.50 | 424 | .05 * | 低 | 3 | 2.95 | 570 | .01 ** | 高 |
| 13 | 2.03 | 422 | .05 * | 高 | 6 | 2.24 | 563 | .05 * | 高 |
| 14 | 2.14 | 424 | .05 * | 低 | 7 | 2.18 | 567 | .05 * | 高 |
| | | | | | 12 | 3.16 | 565 | .01 ** | 高 |
| | | | | | 16 | 3.09 | 570 | .01 ** | 高 |
| | | | | | 17 | 4.10 | 568 | .01 ** | 高 |
| | | | | | 20 | 2.49 | 565 | .05 * | 高 |
| | | | | | 22 | 2.56 | 563 | .05 * | 高 |
| | | | | | 31 | 2.23 | 555 | .05 * | 高 |

Table 29 学年別での体育学部と他学部の平均の差の t 検定の結果、有意だった項目

| 低 学 年 | | | | | 高 学 年 | | | | |
|-------|------|-----|--------|-----|-------|------|-----|--------|-----|
| 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 | 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| 4 | 3.41 | 487 | .01 ** | 体 | 3 | 3.78 | 496 | .01 ** | 他 |
| 5 | 2.54 | 500 | .05 * | 体 | 4 | 2.57 | 491 | .05 * | 体 |
| 7 | 6.76 | 497 | .01 ** | 体 | 7 | 5.84 | 494 | .01 ** | 体 |
| 9 | 3.21 | 500 | .01 ** | 体 | 8 | 2.92 | 494 | .01 ** | 他 |
| 16 | 3.64 | 500 | .01 ** | 体 | 9 | 3.76 | 495 | .01 ** | 体 |
| 17 | 3.80 | 497 | .01 ** | 体 | 23 | 4.11 | 484 | .01 ** | 体 |
| 20 | 2.72 | 492 | .01 ** | 体 | | | | | |
| 23 | 4.07 | 494 | .01 ** | 体 | | | | | |
| 25 | 2.09 | 496 | .05 * | 体 | | | | | |
| 26 | 2.00 | 494 | .05 * | 体 | | | | | |
| 31 | 2.91 | 493 | .01 ** | 体 | | | | | |
| 32 | 2.19 | 496 | .05 * | 体 | | | | | |
| 33 | 3.83 | 497 | .01 ** | 体 | | | | | |

Table 30 性別×学年で分けた場合の平均とS D

| 項目 | 男 | | | | 女 | | | |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 低学年 | | 高学年 | | 低学年 | | 高学年 | |
| | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D | 平均 | S D |
| 1 | 3.42 | 1.14 | 3.51 | 1.19 | 3.45 | 0.97 | 3.63 | 0.96 |
| 2 | 4.41 | 0.86 | 4.35 | 0.87 | 4.37 | 0.82 | 4.40 | 0.76 |
| 3 | 3.15 | 1.45 | 3.30 | 1.43 | 3.54 | 1.26 | 3.58 | 1.29 |
| 4 | 3.87 | 1.14 | 3.99 | 1.02 | 3.95 | 1.04 | 4.07 | 0.95 |
| 5 | 2.61 | 1.33 | 2.74 | 1.32 | 3.56 | 1.19 | 3.57 | 1.18 |
| 6 | 3.71 | 1.14 | 3.88 | 1.03 | 3.96 | 1.01 | 4.14 | 0.92 |
| 7 | 3.08 | 1.22 | 3.22 | 1.18 | 3.16 | 1.07 | 3.41 | 0.97 |
| 8 | 3.05 | 1.35 | 2.97 | 1.32 | 3.23 | 1.09 | 3.22 | 1.16 |
| 9 | 3.70 | 1.29 | 3.84 | 1.23 | 3.67 | 1.26 | 3.77 | 1.19 |
| 10 | 4.30 | 0.93 | 4.22 | 0.99 | 4.41 | 0.76 | 4.53 | 0.67 |
| 11 | 2.84 | 1.38 | 3.05 | 1.35 | 3.00 | 1.20 | 3.18 | 1.16 |
| 12 | 3.38 | 1.21 | 3.54 | 1.21 | 3.51 | 1.05 | 3.70 | 1.04 |
| 13 | 2.61 | 1.17 | 2.72 | 1.13 | 2.09 | 1.09 | 2.45 | 1.05 |
| 14 | 3.59 | 0.99 | 3.43 | 1.10 | 3.45 | 0.99 | 3.24 | 0.97 |
| 15 | 2.90 | 1.02 | 2.84 | 1.06 | 2.80 | 0.94 | 2.78 | 0.87 |
| 16 | 3.20 | 1.06 | 3.28 | 1.03 | 3.22 | 0.99 | 3.44 | 0.82 |
| 17 | 3.50 | 1.22 | 3.67 | 1.15 | 3.64 | 1.14 | 3.75 | 0.98 |
| 18 | 2.92 | 1.11 | 3.00 | 1.12 | 3.12 | 1.11 | 3.29 | 0.92 |
| 19 | 3.94 | 1.09 | 3.98 | 0.99 | 3.80 | 1.12 | 3.80 | 1.00 |
| 20 | 3.55 | 1.23 | 3.68 | 1.16 | 3.83 | 0.98 | 3.74 | 1.05 |
| 21 | 3.24 | 1.03 | 3.20 | 1.02 | 3.56 | 0.91 | 3.59 | 0.94 |
| 22 | 4.14 | 0.93 | 4.22 | 0.84 | 4.19 | 0.94 | 4.39 | 0.76 |
| 23 | 3.19 | 1.18 | 3.26 | 1.12 | 3.17 | 1.10 | 3.39 | 1.01 |
| 24 | 3.51 | 1.09 | 3.61 | 1.11 | 3.30 | 1.07 | 3.53 | 1.02 |
| 25 | 4.07 | 1.04 | 4.04 | 0.99 | 4.18 | 0.84 | 4.46 | 0.67 |
| 26 | 3.89 | 1.06 | 3.88 | 1.01 | 4.19 | 0.91 | 4.20 | 0.90 |
| 27 | 2.96 | 1.15 | 2.89 | 1.13 | 3.06 | 0.95 | 3.01 | 1.04 |
| 28 | 2.94 | 1.26 | 3.00 | 1.15 | 2.28 | 1.04 | 2.61 | 1.02 |
| 29 | 3.58 | 0.96 | 3.63 | 0.93 | 3.50 | 0.92 | 3.38 | 0.95 |
| 30 | 3.02 | 1.05 | 2.99 | 1.09 | 2.92 | 0.97 | 2.93 | 0.92 |
| 31 | 2.92 | 1.26 | 3.05 | 1.22 | 3.12 | 1.30 | 3.45 | 1.24 |
| 32 | 3.85 | 0.99 | 3.84 | 1.03 | 3.83 | 1.00 | 4.04 | 0.80 |
| 33 | 4.32 | 0.88 | 4.29 | 0.86 | 4.32 | 0.85 | 4.30 | 0.78 |
| 34 | 2.97 | 1.17 | 2.95 | 1.19 | 3.18 | 1.11 | 3.21 | 1.07 |

条件を組み合わせた Table 33 を基礎資料として付す。

3 フェイスシートによる、身体活動、健康増進活動実行の実態

フェイスシートでは、5つの設問により、身体活動、健康増進活動等の実行について調査を行った。

Table 34-1 は、大学の運動クラブやスポーツの同好会への所属の有無をたずねた結果をまとめたものである。所属すると回答した者の割合は45%と、半数をやや下回るものであった。各表について χ^2 検定を行い、表の下に示した。aの学部別集計によれば、明らかに体育学部所属の学生の方が「はい」への回答者の割合が大きい。男性と女性の比較では差は認められなかった。また、学年による所属者の割合の変化もないことが示された。

Table 34-2 は、学外のトレーニングセンター、スポーツ教室、アスレチック

Table 31 男女別での低学年と高学年の平均の差の t 検定の結果、有意だった項目

| 男 子 | | | | | 女 子 | | | | |
|-----|------|-----|-------|-----|-----|------|-----|--------|-----|
| 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 | 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| 6 | 2.26 | 768 | .05 * | 高 | 13 | 2.47 | 211 | .05 * | 高 |
| 11 | 2.11 | 775 | .05 * | 高 | 25 | 2.61 | 195 | .01 ** | 高 |
| 14 | 2.25 | 757 | .05 * | 低 | 28 | 2.32 | 213 | .05 * | 高 |

Table 32 学年別での男子と女子の平均の差の t 検定の結果、有意だった項目

| 低 学 年 | | | | | 高 学 年 | | | | |
|-------|------|-----|--------|-----|-------|------|-----|--------|-----|
| 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 | 項目 | t 値 | d f | 有意水準 | 高い方 |
| 3 | 2.53 | 495 | .05 * | 女 | 5 | 6.01 | 495 | .01 ** | 女 |
| 5 | 6.62 | 497 | .01 ** | 女 | 6 | 2.39 | 485 | .05 * | 女 |
| 6 | 2.07 | 495 | .05 * | 女 | 10 | 3.85 | 271 | .01 ** | 女 |
| 13 | 4.10 | 494 | .01 ** | 男 | 13 | 2.28 | 490 | .05 * | 男 |
| 20 | 2.46 | 196 | .05 * | 女 | 18 | 2.86 | 217 | .01 ** | 女 |
| 21 | 2.93 | 492 | .01 ** | 女 | 21 | 3.57 | 491 | .01 ** | 女 |
| 26 | 2.60 | 491 | .01 ** | 女 | 25 | 5.05 | 268 | .01 ** | 女 |
| 28 | 5.41 | 188 | .01 ** | 男 | 26 | 2.95 | 487 | .01 ** | 女 |
| | | | | | 28 | 3.23 | 487 | .01 ** | 男 |
| | | | | | 29 | 2.54 | 483 | .05 * | 男 |
| | | | | | 31 | 3.09 | 483 | .01 ** | 女 |
| | | | | | 32 | 2.17 | 230 | .05 * | 女 |
| | | | | | 34 | 2.08 | 490 | .05 * | 女 |

クラブ、エアロビクス等にメンバー、生徒として通っているか否かを質問した結果を示した。この種の活動を行っている者は 8% 弱であり、多いものではなかった。学部間、男性—女性間、学年間で比較したところ、すべて差は認められなかった。

Table 34-3 は、個人でなにかスポーツや身体訓練をしているか否かに

Table 33 学部×性別×学年で分けた場合の平均とS D

| 項目 | 体 育 学 部 | | | | | | 他 学 部 | | | | | |
|----|---------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|
| | 男 | | | 女 | | | 男 | | | 女 | | |
| | 低 学 年 | 高 学 年 | S D | 低 学 年 | 高 学 年 | S D | 低 学 年 | 高 学 年 | S D | 低 学 年 | 高 学 年 | S D |
| 1 | 3.31 | 3.44 | 1.09 | 3.41 | 3.55 | 0.98 | 3.49 | 3.56 | 1.17 | 3.48 | 3.73 | 0.92 |
| 2 | 4.40 | 4.32 | 0.91 | 4.37 | 4.27 | 0.82 | 4.41 | 4.38 | 0.82 | 4.37 | 4.55 | 0.61 |
| 3 | 3.19 | 2.99 | 1.43 | 3.47 | 3.32 | 1.42 | 3.12 | 3.50 | 1.47 | 3.62 | 3.90 | 1.02 |
| 4 | 4.10 | 4.08 | 1.07 | 4.04 | 4.26 | 0.81 | 3.71 | 3.92 | 1.16 | 3.87 | 3.84 | 1.07 |
| 5 | 2.73 | 2.71 | 1.26 | 3.76 | 3.77 | 1.00 | 2.52 | 2.75 | 1.37 | 3.37 | 3.31 | 1.33 |
| 6 | 3.60 | 3.78 | 1.15 | 4.04 | 4.10 | 0.93 | 3.78 | 3.95 | 1.13 | 3.88 | 4.20 | 0.92 |
| 7 | 3.48 | 3.59 | 1.23 | 3.54 | 3.58 | 0.97 | 2.80 | 2.97 | 1.14 | 2.78 | 3.18 | 0.93 |
| 8 | 3.08 | 2.70 | 1.27 | 3.30 | 3.16 | 1.16 | 3.03 | 3.15 | 1.41 | 3.15 | 3.29 | 1.15 |
| 9 | 3.87 | 4.08 | 1.29 | 4.04 | 3.97 | 1.04 | 3.59 | 3.67 | 1.29 | 3.31 | 3.52 | 1.31 |
| 10 | 4.36 | 4.20 | 0.94 | 4.37 | 4.48 | 0.85 | 4.27 | 4.23 | 0.92 | 4.44 | 4.59 | 0.61 |
| 11 | 2.72 | 2.92 | 1.33 | 3.04 | 3.10 | 1.18 | 2.93 | 3.13 | 1.41 | 2.96 | 3.28 | 1.14 |
| 12 | 3.45 | 3.37 | 1.17 | 3.70 | 3.69 | 0.97 | 3.32 | 3.65 | 1.24 | 3.33 | 3.70 | 1.13 |
| 13 | 2.67 | 2.85 | 1.19 | 2.10 | 2.52 | 0.98 | 2.58 | 2.64 | 1.16 | 2.08 | 2.36 | 1.14 |
| 14 | 3.66 | 3.43 | 0.92 | 3.47 | 3.37 | 0.93 | 3.55 | 3.42 | 1.03 | 3.43 | 3.03 | 1.01 |
| 15 | 2.78 | 2.77 | 1.01 | 2.86 | 2.87 | 0.69 | 2.99 | 2.89 | 1.02 | 2.73 | 2.68 | 1.04 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 16 | 3.26 | 1.02 | 3.36 | 1.10 | 3.24 | 0.97 | 3.49 | 0.86 | 3.50 | 0.90 | 3.08 | 1.02 | 3.30 | 1.07 | 2.96 | 1.05 | 3.37 | 0.72 |
| 17 | 3.61 | 1.16 | 3.67 | 1.17 | 3.53 | 1.12 | 4.06 | 1.01 | 3.71 | 1.01 | 3.39 | 1.25 | 3.76 | 1.16 | 3.23 | 1.13 | 3.80 | 0.95 |
| 18 | 3.01 | 1.10 | 2.94 | 1.15 | 2.91 | 1.03 | 3.18 | 1.05 | 3.34 | 0.87 | 2.90 | 1.09 | 3.06 | 1.18 | 3.06 | 1.16 | 3.24 | 0.98 |
| 19 | 3.93 | 1.05 | 3.96 | 1.09 | 3.96 | 0.98 | 3.98 | 1.13 | 3.82 | 0.87 | 3.93 | 1.08 | 3.99 | 1.00 | 3.63 | 1.09 | 3.78 | 1.15 |
| 20 | 3.65 | 1.16 | 3.73 | 1.17 | 3.56 | 1.13 | 3.94 | 0.95 | 3.77 | 1.03 | 3.43 | 1.26 | 3.76 | 1.17 | 3.73 | 1.01 | 3.70 | 1.09 |
| 21 | 3.30 | 1.02 | 3.27 | 1.02 | 3.13 | 0.92 | 3.63 | 0.87 | 3.63 | 0.93 | 3.21 | 1.05 | 3.26 | 1.08 | 3.50 | 0.96 | 3.54 | 0.95 |
| 22 | 4.20 | 0.88 | 4.16 | 0.98 | 4.19 | 0.85 | 4.35 | 0.89 | 4.32 | 0.75 | 4.12 | 0.90 | 4.25 | 0.84 | 4.02 | 0.97 | 4.46 | 0.76 |
| 23 | 3.24 | 1.13 | 3.43 | 1.16 | 3.50 | 0.99 | 3.43 | 1.14 | 3.52 | 0.89 | 3.03 | 1.18 | 3.10 | 1.17 | 2.92 | 1.01 | 3.22 | 1.13 |
| 24 | 3.53 | 1.09 | 3.57 | 1.07 | 3.70 | 1.05 | 3.40 | 1.03 | 3.63 | 1.04 | 3.46 | 1.10 | 3.55 | 1.15 | 3.21 | 1.11 | 3.40 | 0.99 |
| 25 | 4.11 | 0.97 | 4.19 | 0.99 | 4.03 | 0.94 | 4.24 | 0.91 | 4.47 | 0.69 | 3.98 | 1.07 | 4.05 | 1.03 | 4.13 | 0.77 | 4.44 | 0.64 |
| 26 | 3.95 | 1.02 | 3.99 | 1.00 | 3.86 | 1.01 | 4.30 | 0.89 | 4.10 | 0.91 | 3.82 | 1.10 | 3.90 | 1.02 | 4.08 | 0.93 | 4.32 | 0.89 |
| 27 | 2.95 | 1.11 | 2.97 | 1.13 | 2.80 | 1.04 | 3.18 | 0.98 | 2.97 | 1.01 | 2.96 | 1.17 | 2.95 | 1.19 | 2.94 | 0.90 | 3.06 | 1.08 |
| 28 | 2.85 | 1.19 | 2.97 | 1.29 | 3.04 | 1.03 | 2.16 | 1.10 | 2.76 | 1.05 | 2.91 | 1.23 | 2.97 | 1.23 | 2.40 | 0.98 | 2.42 | 0.95 |
| 29 | 3.57 | 0.94 | 3.59 | 0.93 | 3.53 | 0.92 | 3.47 | 0.92 | 3.39 | 0.88 | 3.58 | 0.97 | 3.70 | 0.93 | 3.52 | 0.92 | 3.36 | 1.05 |
| 30 | 2.99 | 1.04 | 2.92 | 1.03 | 2.87 | 1.00 | 2.98 | 1.05 | 2.98 | 0.80 | 3.09 | 1.06 | 3.06 | 1.15 | 2.86 | 0.89 | 2.86 | 1.05 |
| 31 | 3.05 | 1.25 | 3.02 | 1.30 | 3.13 | 1.13 | 3.53 | 1.32 | 3.59 | 1.24 | 2.84 | 1.23 | 2.99 | 1.27 | 2.71 | 1.15 | 3.29 | 1.22 |
| 32 | 3.87 | 0.99 | 3.93 | 1.01 | 3.76 | 0.96 | 4.06 | 0.90 | 4.02 | 0.78 | 3.80 | 0.97 | 3.90 | 1.07 | 3.62 | 1.05 | 4.08 | 0.83 |
| 33 | 4.31 | 0.86 | 4.46 | 0.81 | 4.36 | 0.83 | 4.57 | 0.76 | 4.35 | 0.81 | 4.22 | 0.91 | 4.25 | 0.89 | 4.08 | 0.88 | 4.24 | 0.74 |
| 34 | 3.01 | 1.16 | 2.99 | 1.17 | 2.95 | 1.11 | 3.29 | 1.01 | 3.26 | 1.01 | 2.96 | 1.16 | 2.95 | 1.25 | 3.08 | 1.20 | 3.16 | 1.15 |

Table 34-1 運動クラブやスポーツ同好会への所属実態

| a. 学部別集計 | | | | b. 性別集計 | | | | c. 学年別集計 | | | |
|----------|----------------|----------------|----------------|---------|----------------|----------------|----------------|----------|----------------|----------------|----------------|
| 学部 | いいえ | はい | 計 | 性別 | いいえ | はい | 計 | 学年 | いいえ | はい | 計 |
| 体育 | 58 (5.76) | 372 (36.94) | 430 (42.70) | 男性 | 436 (43.51) | 350 (34.93) | 786 (78.44) | 低 | 276 (27.41) | 230 (22.84) | 430 (42.70) |
| 他 | 495 (49.16) | 82 (8.14) | 577 (57.30) | 女性 | 112 (11.18) | 104 (10.38) | 216 (21.56) | 高 | 277 (27.51) | 224 (22.24) | 577 (57.30) |
| 計 | 553 (54.92) | 454 (45.08) | 1,007 (100) | 計 | 548 (54.69) | 454 (45.31) | 1,002 (100) | 計 | 553 (54.92) | 454 (45.08) | 1,007 (100) |

$\chi^2 = 520.20, df = 1, p < .01$

$\chi^2 = .90, df = 1, N.S.$

$\chi^2 = .06, df = 1, N.S.$

Table 34-2 トレーニングセンター、スポーツ教室、アスレチッククラブ、エアロビクス通いの実態

| a. 学部別集計 | | | | b. 性別集計 | | | | c. 学年別集計 | | | |
|----------|----------------|--------------|----------------|---------|----------------|--------------|----------------|----------|----------------|--------------|----------------|
| 学部 | いいえ | はい | 計 | 性別 | いいえ | はい | 計 | 学年 | いいえ | はい | 計 |
| 体育 | 395 (39.23) | 35 (3.48) | 430 (42.70) | 男性 | 721 (71.96) | 65 (6.49) | 786 (78.44) | 低 | 465 (46.18) | 41 (4.07) | 430 (42.70) |
| 他 | 534 (53.03) | 43 (4.27) | 577 (57.30) | 女性 | 203 (20.26) | 13 (1.30) | 216 (21.56) | 高 | 464 (46.08) | 37 (3.67) | 577 (57.30) |
| 計 | 929 (92.25) | 78 (7.75) | 1,007 (100) | 計 | 924 (92.22) | 78 (7.78) | 1,002 (100) | 計 | 929 (92.25) | 78 (7.75) | 1,007 (100) |

$\chi^2 = .16, df = 1, N.S.$

$\chi^2 = 1.20, df = 1, N.S.$

$\chi^2 = .18, df = 1, N.S.$

Table 34-3 個人的なスポーツ、身体訓練実施の実態

| a. 学部別集計 | | | | b. 性別集計 | | | | c. 学年別集計 | | | |
|----------|----------------|----------------|----------------|---------|----------------|----------------|----------------|----------|----------------|----------------|----------------|
| 学部 | いいえ | はい | 計 | 性別 | いいえ | はい | 計 | 学年 | いいえ | はい | 計 |
| 体育 | 321 (31.88) | 109 (10.82) | 430 (42.70) | 男性 | 563 (56.19) | 223 (22.26) | 786 (78.44) | 低 | 396 (39.32) | 110 (10.92) | 506 (50.25) |
| 他 | 429 (42.60) | 143 (14.70) | 577 (57.30) | 女性 | 184 (18.36) | 32 (3.19) | 216 (21.56) | 高 | 354 (35.14) | 147 (14.60) | 501 (49.75) |
| 計 | 750 (74.48) | 257 (25.52) | 1,007 (100) | 計 | 747 (74.55) | 255 (25.45) | 1,002 (100) | 計 | 750 (74.48) | 257 (25.52) | 1,007 (100) |

$\chi^2 = .01, df = 1, N.S.$

$\chi^2 = 16.41, df = 1, p < .01$

$\chi^2 = 7.65, df = 1, p < .01$

Table 34-4 個人的な健康保持、健康増進活動実行の実態

| a. 学部別集計 | | | | b. 性別集計 | | | | c. 学年別集計 | | | |
|----------|----------------|----------------|----------------|---------|----------------|----------------|----------------|----------|----------------|----------------|----------------|
| 学部 | いいえ | はい | 計 | 性別 | いいえ | はい | 計 | 学年 | いいえ | はい | 計 |
| 体育 | 253 (25.12) | 177 (17.58) | 430 (42.70) | 男性 | 524 (52.30) | 262 (26.15) | 786 (78.44) | 低 | 357 (35.45) | 149 (14.80) | 506 (50.25) |
| 他 | 429 (42.60) | 148 (14.70) | 577 (57.30) | 女性 | 153 (15.27) | 63 (6.29) | 216 (21.56) | 高 | 325 (32.27) | 176 (17.48) | 501 (49.75) |
| 計 | 682 (67.73) | 325 (32.27) | 1,007 (100) | 計 | 677 (67.56) | 325 (32.44) | 1,002 (100) | 計 | 682 (67.73) | 325 (32.27) | 1,007 (100) |

$\chi^2 = 27.13, df = 1, p < .01$

$\chi^2 = 1.34, df = 1, N.S.$

$\chi^2 = 3.72, df = 1, N.S.$

Table 34-5 高校時代の身体訓練、健康増進活動経験の実態

| a. 学部別集計 | | | | b. 性別集計 | | | | c. 学年別集計 | | | |
|-----------|----------------|----------------|----------------|-----------|----------------|----------------|----------------|----------|----------------|----------------|----------------|
| 学部 | いいえ | はい | 計 | 性別 | いいえ | はい | 計 | 学年 | いいえ | はい | 計 |
| 体育 (%) | 145 (14.40) | 285 (28.30) | 430 (42.70) | 男性 (%) | 256 (25.55) | 530 (52.89) | 786 (78.44) | 低 (%) | 169 (16.78) | 337 (33.47) | 506 (50.25) |
| 他 (%) | 206 (20.46) | 371 (36.84) | 577 (57.30) | 女性 (%) | 93 (9.28) | 123 (12.28) | 216 (21.56) | 高 (%) | 182 (18.07) | 319 (31.68) | 501 (49.75) |
| 計 (%) | 351 (34.86) | 656 (65.14) | 1,007 (100) | 計 (%) | 349 (34.83) | 653 (65.17) | 1,002 (100) | 計 (%) | 351 (34.86) | 656 (65.14) | 1,007 (100) |

 $\chi^2 = .43$, $df = 1$, N.S. $\chi^2 = 8.21$, $df = 1$, $p < .01$ $\chi^2 = .95$, $df = 1$, N.S.

ついでの結果である。全体としては¼の回答者が行っているという結果であった。学部間に差は認められなかったが、女性に比べて男性の方が、低学年に比べて高学年の方が実施者が多いという結果がみられた。

Table 34-4 は、健康保持、健康増進に役立つことをしているか否かをたずねた結果である。全体としては⅓程度の回答が実行しているというものであった。学部間では、体育学部学生が他学部学生よりも割合が多い。しかし、性別および学年間には差は認められなかった。

Table 34-5 は、中学校、高等学校の時代に何らかの身体訓練、健康増進活動を行っていたか否かを質問した結果である。全体としては65%の者が行っていたという回答であった。学部間、学年間の比較では差は認められない。一方、性別では、男性が女性に比べて行っていたとする回答が多かった。

以上の結果はつぎのようにまとめることができる。

(1) 体育学部学生は他学部学生に比べて、スポーツ、健康保持・増進活動を多く行っている。大学入学以前の身体訓練、健康増進活動では体育学部以外の学生と体育学部学生との間に差がないという結果とあわせてみると、一般学生は大学進学とともにスポーツ、健康保持・増進活動をしなくなる者が多いということが分る。一般学生の間では、高校生の頃のように、勉学とスポーツといった二本柱からなる文化から、多様な中身をもつ大学生文化に移ることにより、身体文化の占める位置がその行動的側面で相対的に低下するように思われる。

(2) Table 34-3, 34-5 の結果にみるように、身体訓練的な文化は男性の

方に多く示されている。ただし健康保持といった側面では性差は認められない。

(3) Table 34-3 にみられたように、身体訓練にかかわる文化は高学年に高かった。ただしそれが、学年の推移に伴う結果か、世代的な差なのかという点については慎重な解釈、吟味が必要だと思われる。

(4) 全体としてみると、中学、高校時代に比べて身体訓練、健康保持・増進にかかわる文化の比重は、この調査結果の限りでは大学生で小さくなってきているように思われる。また、近年盛んとなってきた学外のフィットネス活動への参加も多いものではなかった。

討 論

約1,000人の中京大学学生を対象に、質問紙を用いた本調査では、現代青年の身体文化に関する実態を多面的に検討した。データに即した考察はすでに行ったが、次に幾つかの、青年の身体文化を捉えるための項目を立てて、本調査で得た各種の結果と合わせた吟味を行う。

1. 運動への関心、健康への関心は高いか——因子分析にもとづく尺度別検討によれば、実際に参加したいという行動的側面も含めて、運動や健康への関心はやや高い。運動と健康とでは相対的に健康への関心が高い傾向がみられた。フェイスシートの結果によれば、大学生は高校時代に比べて身体訓練や健康増進活動への参加が少ない。尺度別検討でも「やや高い」関心があるという程度の結果であることとあわせてみると、大学生の中では身体活動は、青年文化の中での比重が高校生に比べて減少する傾向がうかがえる。国民の、とりわけ中・高年のスポーツに対する関心が高まってきているといわれる風潮も、大学生一般には必ずしもあてはまらない。高校から大学への移行に伴う文化の広がりを見野に入れた検討が必要だと思われる。

2. フィットネスブーム、スポーツのファッション化は大学生にもみられるか——フィットネスについて直接に質問している項目は16, 17, 31, 32の4項目である。それらの回答をみると全体としてポジティブな方

向の結果を示しているが、エアロビクス、ボディビルといった体力増進活動よりはジョギング、ストレッチング、太極拳といった健康増進活動への回答の方が高かった。ファッション性は尺度別検討ではIVの尺度がそれにあたるが、これもややポジティブな態度がみられた程度であり、必ずしも高い値ではなかった。さらに、フェイスシートで質問したトレーニングセンター等の利用、参加状況は10%に満たないという結果もある。総じて、フィットネス、ファッションには、ある程度の興味、関心をもってはいるものの、実際の参加活動は少ないという結果であった。フィットネス、ファッションは費用面で大学生には負担となる。そこで、経済的自立の程度の高い有職青年との違いを検討してみることも今後の問題として興味深いであろう。

3. 青年の身体観、健康観の実態——尺度別検討ではIで心身の相関、Vで身体と権威主義の相関を調査した。心身の相関関係はややそれを認める方向の結果がみられた。一方、身体と権威主義の関係は、「どちらでもない」に近い結果であった。身体観、健康観の実態はこの調査で示されているが、さらに、個々の青年の身体活動の経験や健康にかかわる経験（病歴など）を考慮した、その形成に関する検討も必要となつてこよう。

4. ファッション性にみる性差のなさ——尺度IVのファッション性では、性差が認められなかった。とりわけ、服装、化粧への関心をたずねた項目別の検討でも差がみられなかったことは興味深い。性役割観、性役割行動の次元での変化（例えば男性の身体表現における中性化といった方向性）がうかがえる結果であった。

5. 青年の身体の自己認知の特徴——尺度VIの平均値は、身体の自己認知については「どちらでもない」に比較的近い結果であった。しかし、尺度を構成する項目におろして検討すると、尺度VIの結果は主に項目4、健康であるか否かにみられたポジティブな結果に大きく引きずられたものであることが分かる。むしろ身体の外見、身体の動きへの満足度に今回の結果の特徴を見ることができる。すなわち、身体の外見、動きに対してはやや不満とする回答傾向がみられるのである。とりわけ女子で、それも低

学年で低い自己認知が認められる。一般に自己認知が低ければ、それを補償しようという動機が存在することが考えられる。運動への関心、健康への関心に即して性差をみると女子の方が高い。このような女子の男子に対する相対的な積極性の背景の一つに自己認知の低さがあるように思えるのである。女子と男子の身体、健康への態度形成因の検討も興味ある課題である。

6. 体育学部における身体文化の学年推移に伴う変容の特徴はあるか——体育学部学生には他学部の学生に比べて多くの側面で違いがみられる。尺度別検討では6個の内4個で有意な差があった。この差は、体育学部での学習経験等が基になっているのであろうか。体育学部に限って学年差をみると、尺度別検討では6尺度すべてで有意差は認められていない。したがって、体育学部学生の特徴は入学時の差がそのまま維持されていることによるのではないかと推測される。項目別にみると、そこで差の明らかなものはわずか3項目である。むしろ他学部では2尺度、9項目で差がみられ、学年に伴う文化変容が大きいことが示されている。体育学部においては、身体文化に関係の深い環境の中で、その変容がむしろ少ないという結果であった。

7. 今回の調査からうかがえる青年身体文化の特徴——被調査者の回答のパターンを示した図からうかがえるように、青年の回答の内容は特定の傾向に偏ることなく極めて多様であった。項目ごとの平均値をみても、一方の極に偏るような回答はほとんどみられなかった。ジャーナリスティックな身体文化の扱いに対して、青年の多様な文化行動を視野に入れた理解が必要なことが分かる。

8. 今後の課題として——本調査は現代青年の身体文化研究への第一歩である。上にまとめたような一定の成果を見出すことができたが、これから展開させていくべき課題は多い。身体文化の内容そのものの検討がさらに必要となろう。中学生、高校生等の身体文化との連続性の問題、さらに成人文化へのつながりの問題も重要である。また、身体文化のさまざまな側面について、その創造、改革の歴史の検討、さらに成人も視野に入れ

た文化創造の仕掛け等にもふみこむことも、青年の身体文化理解への道の一つとなろう。接近の方法も柔軟に考えていかねばならないであろう。

文 献

- 青山昌二 1978 女子大学生の自分の理想とする体格 学校保健研究, 20-4, 196-200.
- 深谷昌志・門脇厚司 1985 青少年文化 放送大学教育振興会
- 浜田靖一 1980 大学生の体力と健康に関する意識調査 日本大学人文科学研究
所研究紀要, 23, 47-65.
- 波多野梗子・代田由加里 1985 女子大生のスポーツをすることの好ききらいに
関する研究——生涯スポーツのために 日本女子体育大学紀要, 15, 107-
114.
- 服部豊示 1979 本学学生のスポーツ参加理由について——外在的および内在的
理由からのアプローチ 明治薬科大学研究紀要(人文科学・社会科学), 9,
15-24.
- 速水修・前田郁子・小林禎三 1981 本学学生の健康意識 北海道教育大学紀要
(第2部c), 32-1, 53-62.
- 星野公夫・岩淵忠敬・中島宣行 1981 「からだの動き」と身体認識 体育の科
学, 31-9, 604-609.
- 入江克己 1978 体育における身体論について 鳥取大学教育学部教育科学, 20
-2, 157-170.
- 岩田家正 1984 関西大学・学生の体力と健康——健康の状態と生活習慣につい
て 関西大学文学論集, 33-4, 91-119.
- 柏木恵子 1973 現代青年の性役割の習得 現代青年心理学講座5 現代青年の
性意識 第3章 金子書房 Pp. 101-142.
- 岸野雄三 1968 日本のスポーツと日本人のスポーツ観 体育の科学, 18-1,
12-15.
- 松原治郎 1978 日本の青少年——青少年教育の提唱 東京書館
- 松島宏・北岡和彦・武山隆子 1979 Body Image の性差に関する一考察 武蔵
野女子大学紀要, 14, 157-169.
- 中野収 1985 まるで異星人 有斐閣
- 西大立目永・加藤清忠・白鳥金丸・矢島忠明・関一誠・小野沢弘史・宮崎正己
1983 本学学生の生活環境および運動状況調査——第三報 早稲田大学体育
研究紀要, 15, 87-95.
- 二関隆美 1975 青年文化の問題——青年社会学のための序説 大阪教育大学人
間科学部紀要, 1, 189-249.
- 岡茂 1980 大学生の健康観に関する一考察 大阪教育大学紀要(IV部門), 29-

2・3, 137-147.

志村邦義・武下正次 1985 形態及びプロポーションについての自己認識に関する研究——北里大学1年次女子学生(18・19歳)の認識調査を中心に 北里大学教養部紀要, 19, 55-67.

関徹・中神勝 1985 健康観および健康・体力の評価についての調査研究——大学生に関する成績 名城大学人文紀要, 33, 20-2, 43-57.

菅原禮 1976 日本的スポーツ風土の社会学的考察 新体育, 46-4, 276-279.

高橋康子 1983 青年期における健康意識とその変革(そのI) 北里大学教養部紀要, 17, 150-163.

植村典昭・上杉正幸 1986 大学生にみるスポーツ及び体育に対する好き, 嫌い感情とその理由に関する一調査研究 香川大学教育学部研究報告第1集, 67, 1-19.

上杉正幸 1978 大学生のスポーツ価値意識について——理念型との比較 香川大学教育学部研究報告第1部, 45, 1-27.

上杉正幸 1980 大学生のスポーツ価値意識について(2)——個人意識の体系化 香川大学教育学部研究報告第1部, 48, 99-124.

上杉正幸 1981 大学生のスポーツ価値意識について(3)——個人意識の変容 香川大学教育学部研究報告第1部, 52, 13-41.

上杉正幸 1985 大学生のスポーツ価値意識について(4)——価値意識の類型化 香川大学教育学部研究報告第1部, 64, 167-181.

上杉正幸 1986 大学生のスポーツ価値意識について(5)——数量化によるパターン分類 香川大学教育学部研究報告第1集, 67, 21-35.

内海和雄 1980 身体文化と教育の構造——保健科の目的と内容 一橋論叢, 74-5, 37-55.

依田新 1963 青年心理学 培風館

資 料

調 査 P—C 1

_____大学_____学部_____学科_____年 (男・女)

この調査では、身体、健康に関する諸側面についておたずねします。思ったとおり回答して下さい。

I. 次の質問について、() 内に回答を記入して下さい。

1. あなたは大学の運動クラブやスポーツの同好会に所属していますか。所属している人はそのクラブ(同好会)名を、スポーツの種類が分かるように書いて下さい。

()

2. そのクラブや同好会で、あなたは何を得ていますか。簡潔に書いて下さい。

()

3. あなたは街のトレーニングセンター、スポーツ教室、アスレチッククラブ、エアロビクス等にメンバー、生徒として通っていますか。通っている人はその種類を記入して下さい。

()

4. それらのセンター、教室に通うことで、あなたは何を得ていますか。簡潔に記入して下さい。

()

5. あなたは個人でなにかスポーツや身体訓練をしていますか。している人はその中身を書いて下さい。

()

6. そういった個人的な活動であなたは何を得ていますか。簡潔に書いて下さい。

()

7. あなたは何か健康保持、健康増進に役立つことをしていますか。している人は具体的に書いて下さい。上の項目1, 3, 5と重複した内容でも重ねて書いて下さい。

()

8. そういった活動であなたは何を得ていますか。簡潔に書いて下さい。

()

9. あなたは中学校、高校の時代に身体訓練や健康増進に役立つようなことを何かしていましたか。どのようなことをしていたか、思い出して書いて下さい。

()

10. 中学校、高校時代のそういった活動を通して得たことがらを簡潔に書いて下さい。

()

II. 次の質問について、あなたの考えを、5～1のいずれかのポイントに○をつけて回答して下さい。

| | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|-------------------------------|------------------------------|---------------------|---------------------------------|---------------------------|
| | そのとおりだ …… …… | ややそのとおり だと思おう …… …… | どちらでもない …… …… | ややそのとおり ではないと思おう …… …… | そのとおり ではない …… …… |
| 1. 美しい身体をもっているというだけで、その人に好ましさを感じる …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 2. スポーツの能力の高い身体は好ましい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 3. 身体が健康であれば、心も健康になる …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 4. 私（あなた本人のこと）は健康だ …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 5. パントマイムやバレエ，ダンスのような身体表現に興味がある …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 6. 今の社会では、身体の美しさへの関心が高い …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 7. 私（あなた本人のこと）は身体に関する情報に接することが多い …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 8. 体力＝健康ということが出来る …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 9. テニス，スキー，ウインドサーフィンのようなファッション性のあるスポーツに参加したい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 10. 良いといわれる食品（無添加，無農薬など）をとることや，食べすぎないことなど，食事に気をつけることは好ましい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 11. 美しい身体をもっているというだけで，その人には価値がある …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 12. 身体がしっかりしていれば生活全般が自信に満ちる …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 13. 私（あなた本人のこと）は自分の身体の外見に満足している …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 14. 身体の個性は主に遺伝的な条件によって …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 15. 自分の身体に強い関心をもつ人は権威主義に陥りやすい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 16. エアロビクス，ボデイビルのようなフィットネスブームは好ましい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 17. ジョギング，ストレッチング，太極拳といった健康増進の活動をしてみたい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |

| | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|--|-------------------------------|----------------|---------------|----------------|--------------|
| | そのとおりで …… | ややそのとおりで …… | どちらでもない …… | ややそのとおりで …… | そのとおりで …… |
| 18. 服装, 化粧などで身体をかざるとは好ましい | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 19. スポーツの能力の高い身体には価値がある … | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 20. 身体を鍛えれば心も鍛えられる …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 21. パントマイムやバレエ, ダンスのような身体表現の価値は高い …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 22. 今の社会では, 身体への健康への関心が高い … | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 23. 私(あなた本人のこと)は身体に関する情報を自ら求めている …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 24. テニス, スキー, ウインドサーフィンのようなファッション性のあるスポーツは好ましい … | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 25. 良いといわれる食品(無添加, 無農薬など)をとることや, 食べすぎないなど, 食事に気をつけたい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 26. 見た目に美しい身体が自分にほしい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 27. 身体を鍛えれば知的能力も伸びる …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 28. 私(あなた本人のこと)は自分の身体の動きに満足している …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 29. 身体の個性は主に訓練や生活態度によっている …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 30. 自分の身体に強い自信をもつ人は権威主義に陥りやすい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 31. エアロビクス, ボディビルのようなフィットネス活動に参加したい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 32. ジョギング, ストレッチング, 太極拳といった健康増進の活動は好ましい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 33. スポーツの能力の高い身体を得たい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |
| 34. 服装, 化粧などで身体をかざりたい …………… | ----- ----- ----- ----- ----- | | | | |

Ⅲ. 以上のような身体、健康に対するあなたの考えに影響を与えたことがらとして
何がありますか。思いつくことを下に書いて下さい。

()

Ⅳ. 以上の質問に加えて、身体、健康面の調査として興味深い又は意味のあると思
われる側面や項目に気づかれたら下に記入して下さい。

()

ご協力ありがとうございました

中京大学教養部教育・文化研究会